

# UC-1 Engineer's Suite 積算 Ver.10

Operation Guidance 操作ガイダンス



# 本書のご使用にあたって

本操作ガイドは、主に初めて本製品を利用する方を対象に操作の流れに沿って、操作、入力、処理方法を説明したものです。

## ご利用にあたって

ご使用製品のバージョンは、製品「ヘルプ」のバージョン情報よりご確認ください。

本書は、表紙に掲載のバージョンにより、ご説明しています。

最新バージョンでない場合もございます。ご了承ください。

本製品及び本書のご使用による貴社の金銭上の損害及び逸失利益または、第三者からのいかなる請求についても、弊社は、その責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。

製品のご使用については、「使用権許諾契約書」が設けられています。

※掲載されている各社名、各社製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

# 目次

5	第1章 製品概要
5	1 UC-1 Engineer's Suiteの概要
8	2 UC-1 Engineer's Suite積算の概要
11	3 バージョン及び改良点
11	4 フローチャート
12	第2章 操作ガイダンス
12	1 積算の流れ
12	1-1 基本的な操作
12	1-2 基本条件
14	1-3 直接工事費
31	1-4 間接工事費
34	1-5 一般管理費
34	2 出力
34	2-1 総括表
35	2-2 印刷/出力
35	3 データ保存
36	第3章 積算関連設定
36	1 設計書の取込み
37	2 UC-1スイート積算連動インポート
38	3 概算工費
39	4 スイート建設会計との連携
42	第4章 Q&A

# 第1章 製品概要

## 1 UC-1 Engineer's Suiteの概要

UC-1エンジニアスイートとは、設計CADソフトウェアであるUC-1シリーズ各製品のセット版です。

UC-1エンジニアスイートでは、単独製品の機能の他に次項に挙げる機能の追加および強化を行っています。

### 【製品機能の追加および強化】

#### (1)クラウド機能

データファイルをクラウドに保存等、クラウドを利用したクラウドファイル共有機能、クラウドバックアップ連携機能、ファイル転送機能を標準サポートします。

#### (2)2DCAD機能

図面作成機能を有しているスイート製品に対して、2次元汎用CADの「UC-Draw」の機能を有したツールにより多様な編集機能、出力等が可能です。

#### (3)3D配筋機能

図面作成機能を有するスイート製品では、「3D配筋CAD」機能を有したツールにより3D表示だけでなく、編集や干渉チェックが可能です。

#### (4)IM機能

「3D配筋CAD」機能を有する製品から「3D配筋CAD」のツールよりIFCデータファイル出力機能が可能です。今後、BIM (Building Information Modeling) , CIM (Construction Information Modeling) 機能、IFC (Industry Foundation Classes) 変換の強化を図ります。

#### (5)サポートチェック機能の強化

スイート製品は、入力順データチェックリスト出力を標準サポートします。

### 【クラウドファイル共有連携】

本プログラムをFORUM8の「UC-1 for SaaS ファイル共有サービス」と連動させる場合の設定を行います。

### UC-1 for SaaSファイル共有サービスとは

ファイル共有サービスは、従来よりユーザー様に無償でご提供しておりますファイル転送サービスを拡張した別サービスで、従来機能に加えてWebストレージとしての機能を備えたファイル共有のためのサービスです。

本サービスは、UC-1スイート製品と連動し製品から直接ファイルを処理することができます。

### 〔設定を開く〕

クラウドファイル共有の設定画面を開きます。

[アカウント設定] タブ

本サービスのサーバにアクセスするためのアカウント情報を設定します。  
本機能を使用するためには、必ず設定する必要があります。

UC-1 for SaaSのアカウント情報をご入力ください。

UC-1スイート製品をご購入いただいた場合、ファイル共有サービスのライセンスが付与されております。

アカウント情報入力後、[設定を保存して接続テスト] をクリックし、「接続できました」の表示が確認出来ればアカウント設定は完了です。設定に誤りがある旨が表示される場合、まず、アカウント設定の入力内容をご確認ください。  
アカウント設定に誤りがなければ、[ネットワーク設定] タブでネットワーク接続の設定を変更します。

[ネットワーク設定] タブ

本サービスのサーバにアクセスする際のネットワークの設定を行います。

インターネットへのアクセスにプロキシサーバを経由する必要がある場合に設定を行なって下さい。

#### [接続タイムアウト]

通信の応答がなくなってから処理を中断するまでの秒数を指定します。

#### [○プロキシサーバを使用しない]

本プログラムのネットワーク接続時にプロキシサーバを経由せずに接続を試みます。

社内にプロキシサーバ、ファイアウォールなどが設置されていると、接続できない場合があります。

#### [○Internet Explorer のプロキシ設定を使用する]

ネットワーク接続時に Internet Explorer で設定されているプロキシサーバを使用します。

プロキシサーバ接続時に認証情報を設定することはできません。

#### [○プロキシを手動で設定する]

プロキシサーバのホスト名、ユーザ名、パスワード、ポート番号を手動で設定します。

対応している認証方法は、認証なし、BASIC認証の2種類になります。

#### [Webサイトを開く]

ファイル共有サービスのWebサイトを表示します。

Webサイトでは、現在共有されているファイルの確認と検索、ファイルのダウンロード、共有されているファイルの転送などが行えます。

※注意

適切なアカウント情報が入力されていない場合、Webサイトは表示されません。

#### [ファイルを転送]

ファイル共有サービスのサーバに編集中的数据を保存し、本サービスWebサイトのファイル転送ページを開きます。

Webサイトが開きましたら、メールで保存したデータのダウンロードリンクを他の方にご案内いただけます。

本サービスを使用致しますと、メールでの送信が困難な大容量（1ファイル最大2GB）のファイルを簡単に送信することができます。

#### 【クラウドバックアップ連携】

本プログラムをFORUM8の「UC-1 for SaaS クラウドデータバックアップサービス」と連動させる場合の設定を行います。

#### UC-1 for SaaS クラウドデータバックアップサービスとは

PCに常駐するクライアントプログラムにより、定期的にFORUM8のバックアップサーバにアップロードを行い、重要なファイルの自動バックアップを行うことができるサービスです。

※注意

本プログラムとサービスを連動させる場合、事前にクラウドバックアップサービスのクライアントプログラムをインストールし、一度以上起動しておく必要があります。

クライアントプログラムはUC-1 for SaaS グループウェアから、本サービスのWebサイトにログインしてダウンロードいただけます。

#### [開いている対象をファイルに追加]

現在編集中的数据を、クラウドバックアップの対象ファイルとして指定します。

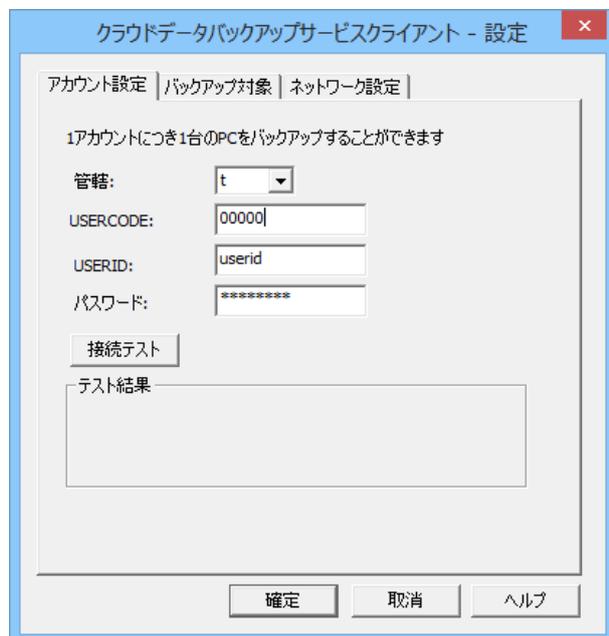
バックアップ対象に追加されたファイルは、クラウドバックアップサービスクライアントにより指定されたスケジュールで自動バックアップされます。

[設定を開く]

クラウドバックアップサービスのクライアントプログラムの設定画面を開きます。

設定について詳しくは、クラウドバックアップサービスのクライアントのヘルプをご確認ください。

設定画面右下のヘルプボタンよりご確認ください。



[Webサイトを開く]

クラウドバックアップサービスのWebサイトを表示します。

Webサイトでは、バックアップ済ファイルの確認、ファイルのダウンロード、ファイルの検索を行うことができます。

※注意

適切なアカウント情報が入力されていない場合、Webサイトは表示されません。

## 2 UC-1 Engineer's Suite積算の概要

### 機能及び特長

本プログラムは、

①国土交通省土木工事積算基準

②国土交通省土木工事標準積算基準書

「共通編」「河川・道路編」のみに対応

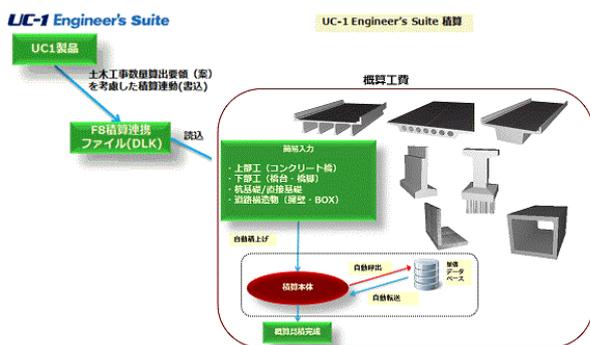
に準拠した公共土木工事における積算を行うプログラムです。

※施工パッケージ単価および施工単価は、令和4年度に対応しています。

①電気通信設備共通設備工及び②電気通信編には対応していません。

- ・国土交通省土木工事積算基準
  - ・国土交通省土木工事標準積算基準書
  - ・施工パッケージ型対応
  - ・設計書の取込み
  - ・合算設計書、合算経費対応
  - ・電子納品出力対応 (EXCEL、PDF)
  - ・単価検索対応(建設物価、積算資料)
  - ・市場単価対応：(「単価データベース」-「施工単価」-「市場単価」は、「国土交通省土木工事標準積算基準書(共通編)」を参考に用意しており、土木施工単価/土木コスト単価ではありません)
  - ・UC-1エンジニアスイート製品との連携(工事内訳書)
  - ・スイート建設会計 (<https://construction-acc.forum8.co.jp/>) への連携に対応
- ※スイート建設会計への連携手順はP39を参照してください。

・概算工費



- ・逆算機能 (工事価格シュミレーション)
- ・「工期設定支援システム」への連携対応
- ・日当り作業量算出対応

適用基準及び参考文献

【適用基準】

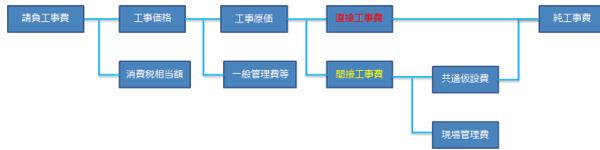
国土交通省土木工事積算基準		一般財団法人 建設物価調査会	本資料内では、「黄本」と呼ぶ。
国土交通省土木工事標準積算基準書		一般財団法人 建設物価調査会	本資料内では、「赤本」と呼ぶ。

【その他の参考及び文献】

土木工事積算基準マニュアル		一般財団法人 建設物価調査会	本資料内では、「積算マニュアル」と呼ぶ。
月刊 建設物価	年間数回の最新	一般財団法人 建設物価調査会	本資料内では、「月刊 建設物価」と呼ぶ。
建設工事で使用する各種資機材の価格や工事費、賃貸料金を全国の各都市で毎月調査し、その結果を収録している総合物価版。建設業界注目の特集記事や建設資材関連の統計資料も掲載。			
季刊 土木コスト情報	年間数回の最新	一般財団法人 建設物価調査会	本資料内では、「季刊 土木コスト情報」と呼ぶ。
市場の取引実態に基づく土木工事、下水道工事、地質調査の市場価格を工種別、規格別、都道府県別にとりまとめた季刊情報誌。2013年4月(春)号からは、これまでの市場単価に加え、維持補修系工種を中心に実態調査に基づく歩掛、材料費、公表されている機械経費、労務費から積上算出した「土木工事標準単価」を新規に掲載しています。			
月刊 積算資料	年間数回の最新	一般財団法人 経済調査会	本資料内では、「月刊 積算資料」と呼ぶ。
全国の調査網を駆使し、建設に関わる資材価格・労務単価・副産物処理費・各種料金を流通・取引数量・都市別に掲載。巻頭では、主要資材の価格の推移や市況、主要経済統計を毎月掲載。特集では、建設行政の寄稿文や、本文未掲載の資材特集や、タイムリーな建設情報の解説を掲載。			
季刊 土木施工単価	年間数回の最新	一般財団法人 経済調査会	本資料内では、「季刊 土木施工単価」と呼ぶ。
土木工種、下水道工種、港湾工種、地質調査の市場単価を掲載。建設機械器具・仮設材の賃貸料金を掲載。			

工事費

請負工事費は、次のような構成となっています。



費用名称	内容
請負工事費	工事価格と消費税等相当額の和で、請負にふそうとする工事の施工にあたり、請負業者が通常必要とすると考えられる全ての費用。
工事価格	工事原価と一般管理費等の和で、請負工事費のうち消費税を含まない価格。
消費税相当額	= 工事価格 × 税率
工事原価	直接工事費と間接工事費の和で、工事現場における経費で処理されると考えられる全ての費用の総称。
一般管理費	工事施工にあたる企業の継続運営に必要な費用。 = 工事原価 (Cp) × 一般管理費等率 (Gp)
直接工事費	工事原価のうち、間接工事費を除いた費用。
間接工事費	原則として工事目的物でない(可搬)を受けない現場の管理費用。 各工事部門共通の直接工事以外の工事費及び経費として、共通仮設費と現場管理費に分類される。
共通仮設費	運搬費、準備費、事業損失防止施設費、安全費、役務費、技術管理費、管轄費
現場管理費	労務管理費、安全訓練費に要する費用、租税公課、保険料、従業員給料手当て、退職金
純工事費	直接工事と共通仮設費の和。

新土木積算体系(工事工種体系ツリー)

新土木工事積算体系とは

新土木積算工事積算体系は、設計書の総括表や内訳書について、階層数や階層の定義、細分化などの構成方法、用語名称や数量単位などの表示方法を工種ごとに標準化・規格化することをいい、設計者によりまちまちとなっていた設計書の構成を統一化し、これにより契約内容の明確化、積算及び検収の合理化・容易化を図るものです。

階層の定義

積算体系の整備は体系や階層の定義が重要であり、内容を下記の表に示します。主に工事区分、工種、種別、細別の項目を使います。

L	名称	定義・内容	例
0	事業区分	事業執行上の区分	河川改修
1	工事区分	発注側を考慮してレベル0を分割したもので、通常1件の工事として発注される工事	築堤・護岸
2	工種	レベル1を構成する要素のうち、一定の構造を施工するための一連作業の名称	地盤改良工
3	種別	体系全体の見通しをよくするため、レベル2と4をつなぐレベル区分	表層安定処理工
4	細別	工事を構成する基本的な単位目的若しくは単位仮設物である	安定処理
5	規格	レベル4を構成する材料等の客観的な材質・規格並びに契約上明示する条件	N24-8-25 コンクリート規格
6	積算要素	レベル4の価格算定上の構成要素であって、基本的には契約上明示しない	ダンプトラック運搬

<従来の積算作業の状況>

- ①積算実務の経験不足で工事の流れが想定できず積算が行えない
  - ②担当者間の経験や認識の相違により積算内容に相違が生じる
  - ③同一用語が異なる箇所に発生する
  - ④単位の使い方が不統一
- この事を踏まえて、国土交通省が基本方針を定義しています。

<新土木工事積算体系の基本方針>

- ①積算内容を発注者及び受注者に対しわかりやすいものにする
- ②誰が積算しても標準化された同じような積算とする
- ③工事目的物を明瞭にする
- ④数量総括表、仕様書等を一貫した統一したものにする

用語の統一・標準化

積算体系の整備は、内訳書の構成方法の標準化を図っていますが、各要素を示す用語についても、これまでは標準的な規定がなく、河川・道路等の部署によっては、例えば「掘削」と「切土」のように、同じ意味のものに対して異なる用語を用いていました。

このように用語の統一・標準化がなされていないと、工事目的物に対する認識が積算担当者と他者では一致しない場合が考えられ、積算内容が不明確であったり、施工者の見積業務や設計者の数量算出業務が複雑になります。

このため、積算体系では使用する用語についても統一・標準化を目指しています。積算体系の用語は、数量計算書・設計書に使用するばかりでなく、積算にまつわる、あらゆるものに共通的に適用されるものとなります。

用語の標準化に当たっては、個々の用語に含まれる内容、体系での階層的な定義、数量単位を一義的に規定するものとし、これを用いて体系を構築することにより、工事目的物を明確化しています。

### 3 バージョン及び改良点

#### 【Ver.10 機能拡張】

- (1)メイン画面のUI改善を行いました。
- (2)国土交通省土木工事積算基準(令和5年)に対応しました。
- (3)国土交通省土木工事標準積算基準書(令和5年)に対応しました。
- (4)新土木積算体系改訂(令和5年)に対応しました。
- (5)建設物価調査会（建設物価, 土木コスト情報）および経済調査会（積算資料, 土木施工単価）の基礎単価 2023年10月号に対応しました。
- (6)作業日当り標準作業量(令和5年度)に対応しました。
- (7)単価データベースにおいて、下記の拡張を行いました。
  - ・検索機能を拡張しました。※単価全体からの検索、検索条件の追加
  - ・回答条件を保持するようにしました。  
※単価積み上げ後、再度単価データベースを起動した場合に、回答条件が反映されます。
- (8)設計書の取込機能において、PDFの取り込み動作を改善しました。
- (9)概算工費において、施工日数の自動算定に対応しました。
  - ・「概算工費」画面の「比較プレビュー」より確認できます。
- (10)概算工費において、杭1本当りの施工費と本数の直接指定に対応しました。
- (11)概算工費において、間接工事費の省略に対応しました。
- (12)概算工費において、入力方法の改善を行いました。

### 4 フローチャート



## 第2章 操作ガイドンス

### 1 積算の流れ

#### 1-1 基本的な操作



メイン画面のツリー項目にマウスカーソルを合わせてダブルクリックすると、入力画面が表示されます。

- ・基本条件
- ・直接工事費
- ・間接工事費
- ・一般管理費

の入力を全て完了（緑状態）にします。その後、印刷/出力をクリックして、印字項目を選択し、プレビューを実行します。印字内容を確認し、そのまま印刷を行う事もできます。また、その内容を別のファイル形式（エクセル、ワード、PDF）に出力する事もできます。

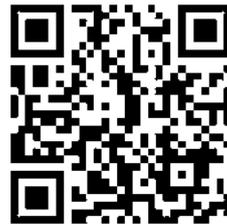


#### 操作ガイドンスムービー

Youtubeへ操作手順を掲載しております。

UC-1 Engineer's Suite 積算 Ver.6

操作ガイドンスムービー(08:53)

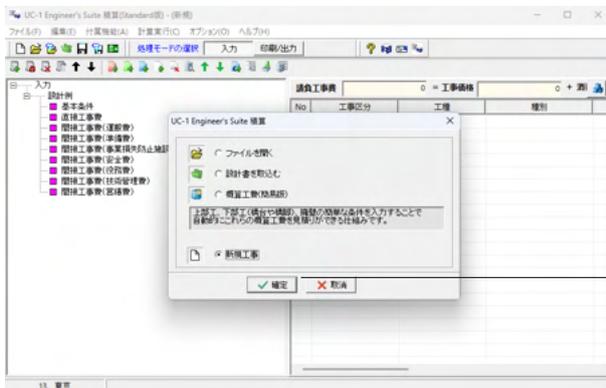


#### 1-2 基本条件

本ガイドンスでは、サンプルデータ：Sample01.F3Aを再現します。

※Sample01.F3Aは積算マニュアル(H30)P1362～を参考に作成しているため、最新版での単価や表記に相違がある場合がございます。ご了承ください。

各入力項目の詳細については製品の【ヘルプ】をご覧ください。



UC-1 Engineer's Suite積算（公共土木）を立ち上げると、上記のような画面が現れます。新規工事にチェックを入れ、「確定」を選択します。

基本条件

事業区分  全事業  河川  海岸  砂防  ダム  道路  公園

工事名称 橋梁下部工事設計書

工事場所 ○○市○○地先

工事内容 下部工:鋼管杭基礎逆T式橋台2基

工事期間 2022/10/01 ~ 2022/10/31

年度 2022年

経費の算定方法 R4年準拠

現場環境改善費の計算 現場環境改善費の地域選択  
 直接指定  自動計算

現場環境改善費の地域選択  
 大都市市街地  上記以外

施工地域区分(共通仮設費、現場管理費)  
 大都市を考慮しない  大都市(1)を考慮する  
 大都市(2)を考慮する

施工地域・工事箇所区分(共通仮設費、現場管理費)  
 市街地  
 山間僻地及び離島  
 一般交通影響有り(1)  
 一般交通影響有り(2)

現場管理費率の補正  
 考慮しない  考慮する  直接指定 補正率 33.21 (%)

助中対策の 異変日 0 (日)  
 現場補正用 工期補正係数 1.20

一般管理費の計算  自動計算

契約保証の補正(一般管理費)  
 ケース1(完全者金銭的保証を必要とする場合)  
 ケース2(発注者が労務的保証を必要とする場合)  
 ケース3(ケース1及び2以外の場合)

被災三県、熊本、広島の間接工事費日当り作業量の補正係数  
 考慮しない  考慮する

共通仮設費の補正係数 1.500 被災三県  
 現場管理費の補正係数 1.200 熊本  
 日当り作業量の補正係数 0.900 広島

前払金支出割合 40 (%)  
 支給品(無償貸付機材評価額) 0 (円)  
 現場環境改善費控除額 0 (円)  
 共通仮設費控除額 0 (円)  
 現場管理費控除額 0 (円)  
 一般管理費控除額 0 (円)  
 消費税率 10 (%)

工種区分(共通仮設費、現場管理費)  
 河川工事  道路維持工事  
 河川・道路構造物工事  河川維持工事  
 海岸工事  共同溝等工事(1)  
 道路改良工事  共同溝等工事(2)  
 鋼橋架設工事  トンネル工事  
 PC橋工事  下水道工事(1)  
 舗装工事  下水道工事(2)  
 砂防・地すべり等工事  下水道工事(3)  
 公園工事  下水道工事(4)  
 電線共同溝工事  コンクリートダム  
 情報ボックス工事  フィールド  
 橋梁保全工事

摘要の取扱い  
 番号の繰り直し(発生順番)  
 番号の繰り直し(階層番号)  
 直接指定

共通単価表を登録

確定 取消 ヘルプ(H)

基本条件の入力画面が表示されます。  
 下記の通り入力します。

- <事業区分:全事業>
- <工事名称:橋梁下部工事設計書>
- <工事場所:○○市○○地先>
- <工事内容:下部工:鋼管杭基礎逆T式橋台2基>
- <工事期間:2022/10/01-2022/10/31>
- <年度:2022年>
- <経費の算定方法:R4年準拠>
- <施工地域・工事箇所区分:一般交通影響有り(2)>
- <現場環境改善費の計算:直接指定>
- <現場管理費率の補正:直接指定:33.21%>
- <工種区分(共通仮設費・現場管理費):河川・道路構造物工事>

確定ボタンをクリックします。

端数処理

端数処理の取扱い

対象箇所	止め	丸め種類
数量	小数点3桁	切り捨て
単価	1円単位	切り捨て
金額	1円単位	切り捨て
間接工事費1	千円単位	切り捨て
間接工事費2	千円単位	切り捨て
間接工事費3	千円単位	切り捨て
標準作業日数	小数点2桁	四捨五入

間接工事費1 : 共通仮設費の率計上の金額  
 間接工事費2 : 現場管理費の金額  
 間接工事費3 : 現場環境改善経費の金額

確定 取消 ヘルプ(H)

### 端数処理

端数処理の取り扱いについて設定します。

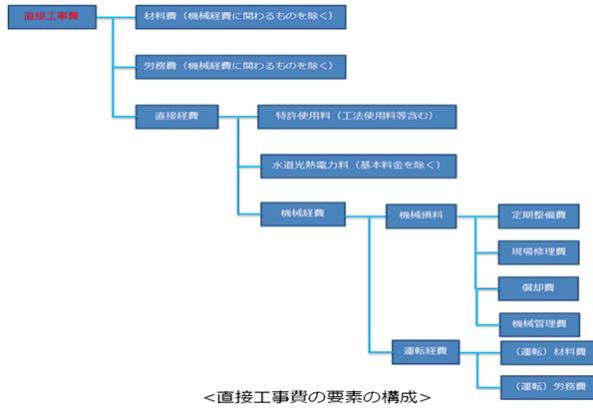
対象箇所	止め	丸め種類
数量	小数点3桁	切り捨て
単価	小数点2桁	切り捨て
金額	小数点2桁	切り捨て
間接工事費1	万円単位	切り捨て
間接工事費2	千円単位	切り捨て
間接工事費3	千円単位	切り捨て
標準作業日数	小数点2桁	四捨五入

確定ボタンをクリックします。

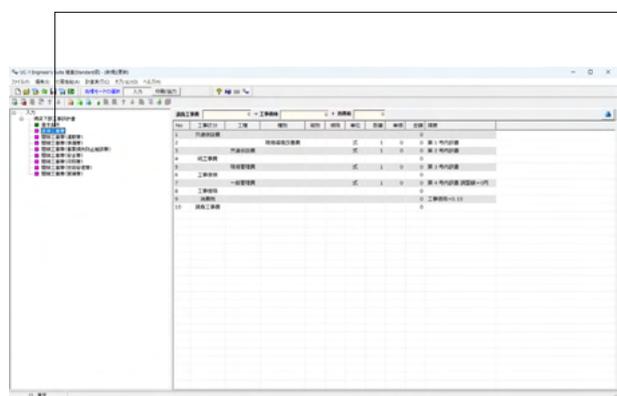
入力画面へと移ります。

工種区分	名称	単位	数量	単価	金額	備考
1	河川工事	延べ	1	0	0	河川工事
2	河川・道路構造物工事	延べ	1	0	0	河川・道路構造物工事
3	海岸工事	延べ	1	0	0	海岸工事
4	道路改良工事	延べ	1	0	0	道路改良工事
5	鋼橋架設工事	延べ	1	0	0	鋼橋架設工事
6	トンネル工事	延べ	1	0	0	トンネル工事
7	下水道工事(1)	延べ	1	0	0	下水道工事(1)
8	下水道工事(2)	延べ	1	0	0	下水道工事(2)
9	下水道工事(3)	延べ	1	0	0	下水道工事(3)
10	下水道工事(4)	延べ	1	0	0	下水道工事(4)
11	コンクリートダム	延べ	1	0	0	コンクリートダム
12	フィールド	延べ	1	0	0	フィールド
13	橋梁保全工事	延べ	1	0	0	橋梁保全工事

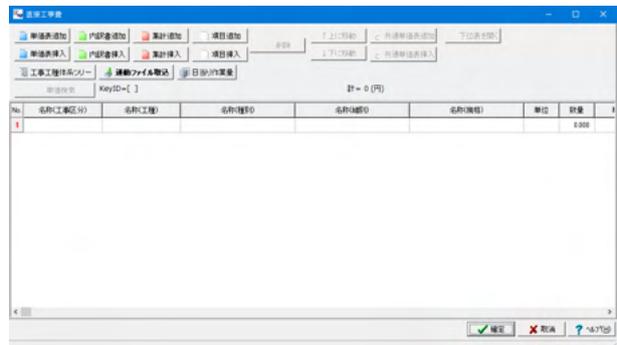
### 1-3 直接工事費



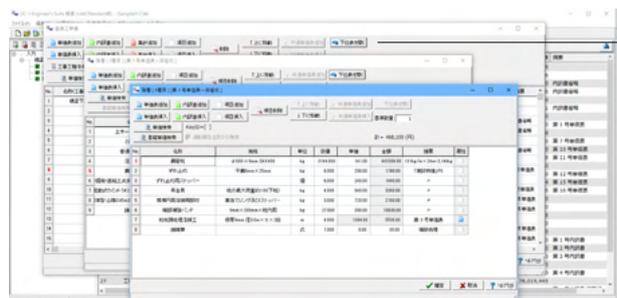
直接工事費の構成は、図の通りです。



ツリーの「直接工事費」をクリックします。



左のような画面が現れます。名称～属性までを入力することが可能です。



工事費用を本画面で積み上げていきます。[内訳書]及び[単価表]は下位表を保持でき、最大5階層目まで入力が可能です。[項目]は下位表を保持できません。

内訳書>単価表>項目の関係になっています。単価表の中に内訳書は作成不可、項目の中に単価表は作成不可となります。

単価及び歩掛のデータベースを用意(⇒単価検索ボタン)していますので、単価検索画面の施工単価、基礎単価、施工パッケージ型単価から、必要な項目を積算本体側に転送する事で追加(更新)する事ができます。

ある行(例えば1行目)の積上げが完了した時点で、直接工事費の画面を確定する事を推奨します。(更に安全に管理する場合は、ファイルとして保存を定期的に行うと便利です)

No.	名称	単位	数量	単価	金額	積算	備考
1	基礎下管	式	1.000	---	4729035		
2	基礎工事	式	1.000	---	410000		
3	基礎工事	式	1.000	27100.00	27100	内訳書参照	
4	基礎工事	式	1.000	342700.00	342700	内訳書参照	
5	基礎工事	式	1.000	---	4744000		
6	基礎工事	式	1.000	---	400041	内訳書参照	
7	基礎工事	式	1.000	---	2472000		
8	基礎工事	式	1.000	---	2472000	第 1 号単価表	
9	基礎工事	式	1.000	---	300000		
10	基礎工事	式	1.000	---	300000	第 1 号単価表	
11	基礎工事	式	1.000	---	300000		
12	基礎工事	式	1.000	---	300000	第 1 号単価表	
13	基礎工事	式	1.000	---	300000		
14	基礎工事	式	1.000	---	300000	第 1 号単価表	
15	基礎工事	式	1.000	---	300000		
16	基礎工事	式	1.000	---	300000	第 1 号単価表	
17	基礎工事	式	1.000	---	300000		
18	基礎工事	式	1.000	---	300000	第 1 号単価表	

## 積上げ項目の入力操作について

挿入、削除、上下移動時の注意点:入力表では現在選択されている箇所が、左のようにNo.の部分が赤く表示されます。

### 単価表追加

最後の行に単価表を追加します。

### 単価表挿入

最後の行に単価表を挿入します。

### 内訳書追加

最後の行に内訳書を追加します。

### 内訳書挿入

指定行に内訳書を挿入します。

### 集計追加

最後の行に集計の行を追加します。

### 集計挿入

指定行に集計の行を挿入します。集計行は、該当行の下位レベルの集計行以外の金額を集計します。

### 項目追加

最後の行に項目を追加します。

### 項目挿入

指定行に項目を挿入します。

### 削除

指定された行(単価表, 内訳書, 項目)を削除します。単価表や内訳書の場合その下位層まで削除されます。

### ↑移動

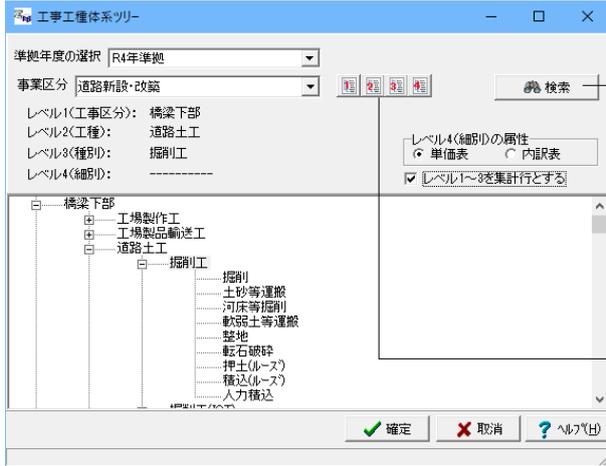
指定された行(単価表, 内訳書, 項目)を上に移動します。その行が保持する下位層の表も連動しています。

### ↓移動

指定された行(単価表, 内訳書, 項目)を下に移動します。その行が保持する下位層の表も連動しています。

## 工事工種体系ツリー

画面左の「工事工種体系ツリー」をクリックすると、工事工種体系ツリーを表示します。



該当する項を選択し確定すると、工事区分、工種、種別、細別の部分に追加されます。

下記を選択します。  
 <準拠年度の選択: R4年度準拠>  
 <事業区分: 道路新設・改築>  
 <橋梁下部-道路土工-掘削工>を選択、  
 <レベル1~3を集計行とする: チェックを入れる>  
 確定ボタンをクリックします。

※<レベル1~3を集計行とする>については、チェックを入れず、属性の個別変更も可能です。

各階層の開閉が可能です。

事業区分、階層を指定して、文字列を検索可能です。



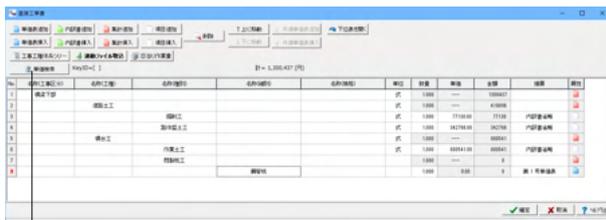
工事区分、工種、種別が追加されます。



名称は必要に応じて変更することが可能です。  
 今回は名称(工事区分)を<橋梁下部>へ変更します。

全て <単位: 式>

名称(種別)-掘削工  
 <属性: 項目>右クリック、行属性の変更にて変更  
 <単価: 77130>  
 <摘要: 内訳書省略>



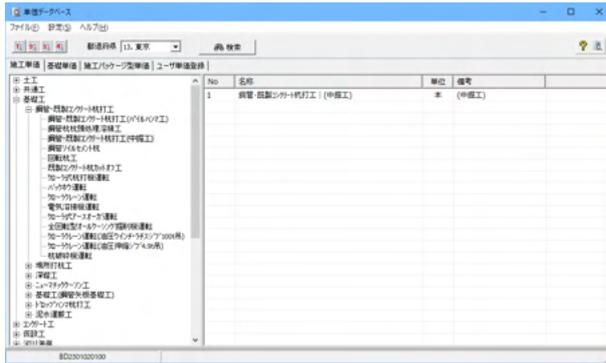
同様に「工事工程体系ツリー」より下記を追加します

橋梁下部-道路土工-路体盛土工  
 <属性: 項目>  
 <単位: 式>  
 <単価: 342766>  
 <摘要: 内訳書省略>

橋梁下部-橋台工-作業土工  
 名称(工種)-橋台工  
 <単位: 式>  
 名称(種別)-作業土工  
 <属性: 項目>  
 <単位: 式>  
 <単価: 880541>  
 <摘要: 内訳書省略>

橋梁下部-橋台工-既製杭工-鋼管杭

鋼管杭の下位表の入力を行います。  
 <名称(細別): 鋼管杭>の行を選択し、<単価検索>をクリックします。



「基礎工」-「鋼管・既製コンクリート杭打ち」-「鋼管・既製コンクリート杭打ち(中掘工)」を選択します。



下記の通り入力を行います。

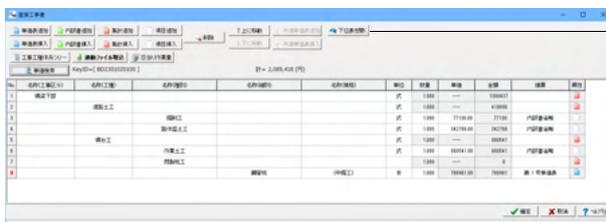
### 施工単価表

- <継杭の有無:有>
- <杭径区分: $\phi 600\text{mm} \leq D < \phi 700\text{mm}$ >
- <N値範囲: $20 \leq N < 40$ >
- <掘削長区分: $16\text{m} < L \leq 32\text{m}$ >

単価の入力を行います。

No	名称	単価
1	土木一般世話役	24200.00
2	溶接工	26400.00
3	特殊作業員	0.0
4	とび工	20200.00
5	普通作業員	29200.00
6	鋼管杭	468100.00
7	PHC・RC・SC・PHC杭	0.0
8	加圧式アース-カ運転	302300.00
9	加圧式アース-カ運転	121900.00
10	バックホウ運転	43140.00
11	諸雑費(率+まるめ)	

「転送」ボタンで値を転送すると、「直接工事費」画面に単価表が設定されます。



「下位表を開く」ボタンより、鋼管杭の単価表を開きます。

## 第2章 操作ガイドンス

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	補償	備考
1	土木一般労働賃		人	4,384	24200.00	106092.80		Ts×1A×4384人
2	芯工		人	4,384	26400.00	115729.60		Ts×1A×4384人
3	普通作業員		人	4,384	20200.00	88556.80		Ts×1A×4384人
4	労務工		人	4,384	20200.00	88556.80		Ts×1A×4384人
5	鋼管	φ80×10mm,SKK48L	本	18,000	448100.00	8,065,800.00		第2年単価表
6	鋼管	φ80×10mm,SKK48L	本	4,384	30250.00	132,610.00		第4年単価表
7	鋼管	φ80×10mm,SKK48L	本	4,384	12100.00	53,046.40		第1年単価表
8	鋼管	φ80×10mm,SKK48L	本	4,384	42140.00	184,721.76		第4年単価表
9	諸雑費		式	1.000	0.00	644781.44		

「特殊作業員」「PHC・RC・SC・PHC杭」など不要な項目がある場合には項目削除より削除を行います。

必要に応じて、「項目追加」「単価表追加」します。  
「単価表追加」した場合は、「下位表を開く」で3層目まで入力します。

諸雑費(率+まるめ)  
合計値がサンプルデータと同じ値<7,813,000>になるように調整します。  
<単価:0.00>  
<金額:644781.44>  
確定ボタンをクリックします。

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	補償	備考
1	橋脚工		式	1.000	---	314720.00		
2	橋脚工		式	1.000	---	41000.00		
3	橋脚工		式	1.000	---	7100.00		内訳表
4	橋脚工		式	1.000	---	34750.00		内訳表
5	橋脚工		式	1.000	---	34750.00		内訳表
6	橋脚工		式	1.000	---	34750.00		内訳表
7	橋脚工		式	1.000	---	34750.00		内訳表
8	橋脚工		式	1.000	---	34750.00		内訳表
9	諸雑費		式	1.000	---	314720.00		第1年単価表

単価が設定されたことを確認し、数量を「36」と入力します。

標準年度の選択 [R3年標準]

事業区分 [道路新設・改築]

レベル1(工事区分): 橋梁下部  
 レベル2(工種): 橋台工  
 レベル3(種別): 橋台躯体工(構造物単位)  
 レベル4(細別): 逆T式橋台

レベル4(細別)の属性  
 単価表  内訳表  
 レベル1~3を累計行とする

検索結果:

- 道路改良
- 舗装
- 鋼橋上部
- コンクリート橋上部
- 橋梁下部
  - 工場製作工
  - 工場製品輸送工
  - 道路土工
  - 軽量盛土工
  - 橋台工
    - 作業土工
    - 作業土工(CT)
    - 既設杭工
    - 場所打杭工
    - 深礎工
    - ニューマチックポン基礎工
    - 橋台躯体工(構造物単位)
      - 逆T式橋台
      - 鉄筋

「橋台躯体工(A1)」を追加します。  
「工事工種体系ツリー」より「逆T式橋台」を選択します。

事業区分:道路新設・改築  
橋梁下部-橋台工-橋台躯体工(構造物単位)-逆T式橋台

No.	名称	単位	備考
1	逆T式橋台 (橋台 橋脚工)	式	橋脚工(1)

逆T橋台を選択後、単価検索を行います。  
橋梁工-橋台・橋脚工-逆T橋台 [橋台・橋脚工(1)]

記号	条件区分	選択項目	値
J01	高さ区分	5m以上7m未満	-----
J02	打設量区分	90m3以上160m3未満	-----
J03	生コンクリート規格	24-8-25(20)(普通)	-----
J04	養生工	一般養生	-----
J05	特殊養生	特殊養生(雑訳)	-----
J06	雑工程	基礎材・均土・コンクリート	-----
J07	生コンクリートの夜間割増の有無	無	-----
J08	圧送管組立・撤去の有無	有	-----

No	名称	単位	数量	単価	金額
3	型枠工	人	2,600	25100.0	65260.00
4	とび工	人	0,800	26400.0	21120.00
5	普通作業員	人	2,200	20200.0	44440.00
6	生コンクリート	m3	10,200	13250.0	135150.00
7	生コンクリート夜間割増額	m3	0.000	0.0	0.00
8	コンクリートポンプ車運転	日	0.060	85640.0	5138.40
9	圧送管組立・撤去費(橋脚・橋台)	m3	10.000	127.3	1273.00
10	養生工	m3	0.000	0.0	0.00
11	特殊養生(仮囲い内ジェットヒータ養生)	m3	0.000	0.0	0.00
12	雑工程	%	7.000	152258.4	10657.60
13	諸雑費(平・まるめ)	%	20.000	152258.4	30461.00

下記の通り入力を行います。

### 施工単価表

単価の入力を行います。

<高さ区分:5m以上7m未満>

<打設量区分:90m3以上160m3未満>

<生コンクリート規格:24-8-25(20)(普通)>

<圧送管組立・撤去の有無:有>

<圧送管延長:15.00>

No	名称	単価
1	土木一般世話役	24200.0
2	特殊作業員	23200.0
3	型わく工	25100.0
4	とび工	26400.0
5	普通作業員	20200.0
6	生コンクリート	13250.0
7	生コンクリート夜間割増額	0.0
8	コンクリートポンプ車運転	85640.0
9	圧送管組立・撤去費(橋脚・橋台)	127.3
10	養生工	0.0
11	特殊養生(仮囲い内ジェットヒータ養生)	0.0

「転送」ボタンで値を転送すると、「直接工事費」画面に単価表が設定されます。

No	名称	単位	数量	単価	金額
1	土木一般世話役	人	2,600	24,200.0	62,920.00
2	特殊作業員	人	8,200	23,200.0	190,240.00
3	型枠工	人	2,600	25,100.0	65,260.00
4	とび工	人	8,800	26,400.0	232,320.00
5	普通作業員	人	2,200	20,200.0	44,440.00
6	コンクリート	m3	10,200	13,250.0	135,150.00
7	コンクリートポンプ車	日	0.060	85,640.0	5,138.40
8	圧送管組立・撤去費	m3	10.000	127.30	1,273.00
9	養生工	式	1.000	0.00	0.00
10	諸雑費	式	1.000	0.00	0.00

「下位表を開く」ボタンより、逆T式橋台の単価表を開きます。

No	名称	規格	単位	数量	単価	金額	種類	属性
1	土木一般世話役		人	9,700	24,200.00	234,954.00		1
2	特殊作業員		人	8,200	23,200.00	190,240.00		1
3	型枠工		人	2,600	25,100.00	65,260.00		1
4	とび工		人	8,800	26,400.00	232,320.00		1
5	普通作業員		人	2,200	20,200.00	44,440.00		1
6	コンクリート	24-8-25	m3	10,200	13,250.00	135,150.00	1	1
7	コンクリートポンプ車	逆T式橋脚・T式圧送	日	0.060	85,640.00	5,138.40	第1号単価表	1
8	圧送管組立・撤去費	圧送管延長15m	m3	10.000	127.30	1,273.00	第1号単価表	1
9	雑工程		式	1.000	0.00	0.00		1
10	諸雑費		式	1.000	0.00	0.00		1

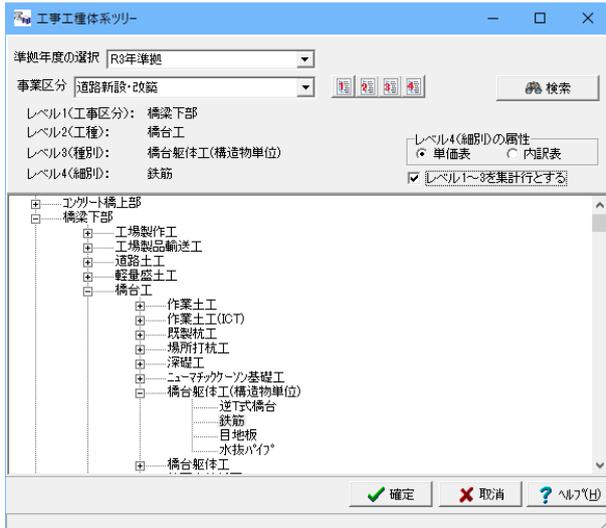
「生コンクリート夜間割増額」「養生工」「特殊養生(仮囲い内ジェットヒータ養生)」など不要な項目がある場合には項目削除より削除を行います

必要に応じて、「項目追加」「単価表追加」します。  
「単価表追加」した場合は、「下位表を開く」で3層目まで入力します。

確定ボタンをクリックします。

No	名称	規格	単位	数量	単価	金額	種類	属性
1	土木一般世話役		人	9,700	24,200.00	234,954.00		1
2	特殊作業員		人	8,200	23,200.00	190,240.00		1
3	型枠工		人	2,600	25,100.00	65,260.00		1
4	とび工		人	8,800	26,400.00	232,320.00		1
5	普通作業員		人	2,200	20,200.00	44,440.00		1
6	コンクリート	24-8-25	m3	10,200	13,250.00	135,150.00	1	1
7	コンクリートポンプ車	逆T式橋脚・T式圧送	日	0.060	85,640.00	5,138.40	第1号単価表	1
8	圧送管組立・撤去費	圧送管延長15m	m3	10.000	127.30	1,273.00	第1号単価表	1
9	雑工程		式	1.000	0.00	0.00		1
10	諸雑費		式	1.000	0.00	0.00		1

単価が設定されたことを確認し、数量を「153」と入力します。

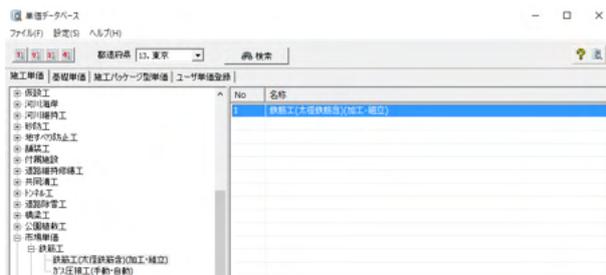


「鉄筋工」を追加します。  
「工事工種体系ツリー」より「鉄筋」を選択します。

事業区分: 道路新設・改築  
橋梁下部-橋台工-橋台躯体工(構造物単位)-鉄筋



鉄筋工の下位表の入力を行います。  
<名称(細別): 鉄筋>の行を選択し、<単価検索>をクリックします。



「市場単価」-「鉄筋工」-「鉄筋工(太径鉄筋含)(加工・組立)」を選択します。



下記の通り入力を行います。

**施工単価表**

単価の入力を行います。  
<鉄筋材料規格・径: SD345 D13>  
<施工規模: 10t未満>  
<時間制約を受ける場合の補正: 無>  
<夜間作業補正: 無>  
<トンネル内作業の補正: 無>  
<法面作業の補正: 無>

No	名称	単価
1	市場単価	73600.00
2	鉄筋材料	74000.0
3	諸雑費(率+まるめ)	0.0

「確定」ボタンで値を転送すると、「直接工事費」画面に単価表が設定されます。

No.	名称(工種)ID	名称(工種)	名称(項目)	名称(単位)	名称(単位)	単位	数量	単価	金額	諸費	計性
1		鉄筋下管				1.000	0.00	0			
2		基礎土工				1.000	0.00	0			
3			鋼材工			1.000	27100.00	0			
4			鉄骨筋土工			1.000	842700.00	0			
5		構台工				1.000	0.00	0			
6			内装土工			1.000	8000.00	0			
7			防雨工	鉄筋工(内装部鉄筋工(補正))		+	1.000	14800.00	14800.00		
8				鋼材	鋼材(補正)~鉄釘工	※	30.000	701000.00	210300.00		諸費発生
9						1.000	0.00	0			
10		諸費(労務工14%)									諸費発生
11						※	50.000	12000.00	6000.00		諸費発生
12						+	1.000	10700.00	10700.00		諸費発生

「下位表を開く」ボタンより、鉄筋工の単価表を開きます。

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	諸費	計性
1	汎用単価		+	1.000	70000.00	70000.00		
2	鉄筋材料		+	1.000	74000.00	74000.00		
3	諸費(労務工14%)		+	1.000	0.00	0.00		

内容の変更を行います

諸雑費(まるめ)  
合計値がサンプルデータと同じ値<149,900>になるように調整します。

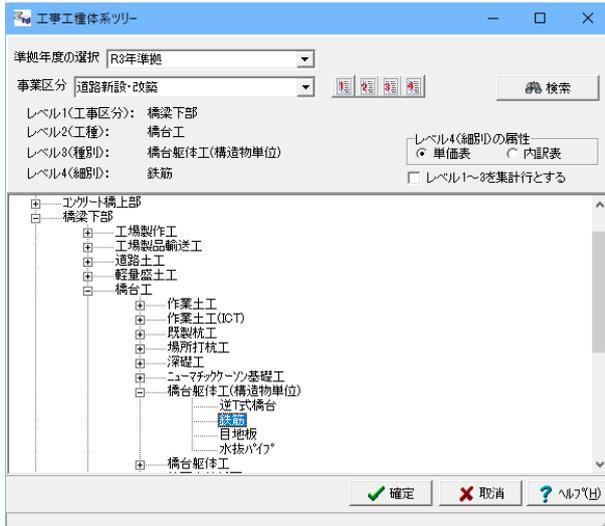
<単価: 0.00>  
<金額: 80.00>

確定ボタンをクリックします。

No.	名称(工種)ID	名称(工種)	名称(項目)	名称(単位)	名称(単位)	単位	数量	単価	金額	諸費	計性
1		鉄筋下管				1.000	0.00	0			
2		基礎土工				1.000	0.00	0			
3			鋼材工			1.000	27100.00	0			
4			鉄骨筋土工			1.000	842700.00	0			
5		構台工				1.000	0.00	0			
6			内装土工			1.000	8000.00	0			
7			防雨工	鉄筋工(内装部鉄筋工(補正))		+	1.000	14800.00	14800.00		
8				鋼材	鋼材(補正)~鉄釘工	※	30.000	701000.00	210300.00		諸費発生
9						1.000	0.00	0			
10		諸費(労務工14%)									諸費発生
11						※	50.000	12000.00	6000.00		諸費発生
12						+	1.000	14800.00	14800.00		諸費発生

鉄筋工の数量入力を行います。  
<数量: 1.100>

## 第2章 操作ガイドンス

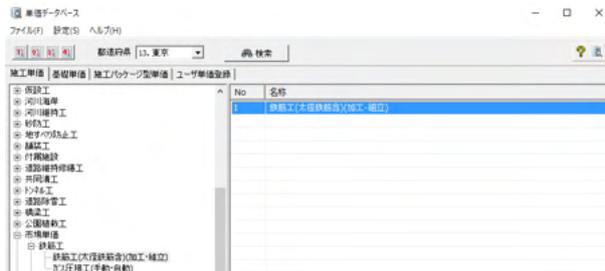


「鉄筋工」を追加します。  
「工事工種体系ツリー」より「鉄筋」を選択します。

事業区分: 道路新設・改築  
橋梁下部-橋台工-橋台躯体工(構造物単位)-鉄筋



鉄筋工の下位表の入力を行います。  
<名称(細別): 鉄筋工>の行を選択し、<単価検索>をクリックします。



「市場単価」-「鉄筋工」-「鉄筋工(太径鉄筋含)(加工・組立)」を選択します。



下記の通り入力を行います。

### 施工単価表

単価の入力を行います。  
<鉄筋材料規格・径: SD345 D16~25>  
<施工規模: 10t未満>  
<時間制約を受ける場合の補正: 無>  
<夜間作業補正: 無>  
<トンネル内作業の補正: 無>  
<法面作業の補正: 無>

No	名称	単価
1	市場単価	73600.00
2	鉄筋材料	72000.00
3	諸雑費(率+まるめ)	0.0

「転送」ボタンで値を転送すると、「直接工事費」画面に単価表が設定されます。

No.	名称	単位	数量	単価	金額	備考
1	構造下地	式	1.000	---	64784287	
2	構造上工	式	1.000	---	41900	
3	鉄筋工	式	1.000	71160	71160	円単価未決
4	鉄骨工	式	1.000	342786	342786	円単価未決
5	内装上工	式	1.000	888418	888418	円単価未決
6	外装上工	式	1.000	---	312000	
7	防音防振工	式	1.000	---	312000	
8	構造耐力上あり	鋼材	28647866	342786	9918200000	第1号単価表
9		鋼材	28647866	342786	9918200000	第1号単価表
10		鉄工鋼骨	40400	320700	13068000	第1号単価表
11		鉄工	32000	180000	5760000	第1号単価表
12		鉄工	1000	147000	147000	第1号単価表

「下位表を開く」ボタンより、鉄筋工の単価表を開きます。

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	備考
1	高橋単価		1	1.000	72600.00	72600.00	
2	鉄筋単価		1	1.000	72600.00	74160.00	
3	諸雑費(まるめ)		式	1.000	40.00	40.00	

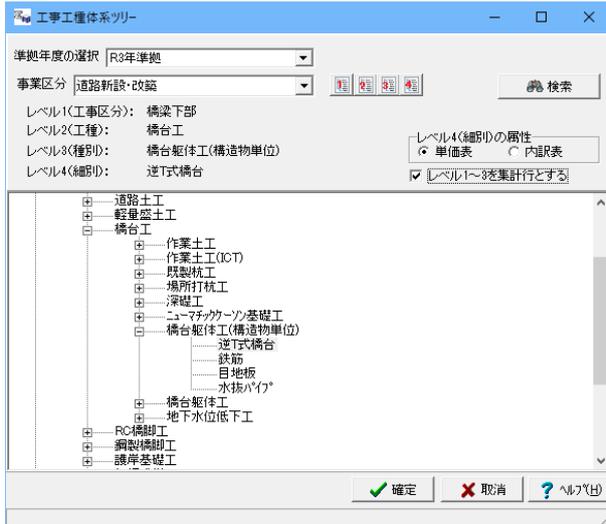
内容の変更を行います

諸雑費(まるめ)  
合計値がサンプルデータと同じ値<147,800>になるように調整します。  
<単価: 0.00>  
<金額: 40.00>

確定ボタンをクリックします。

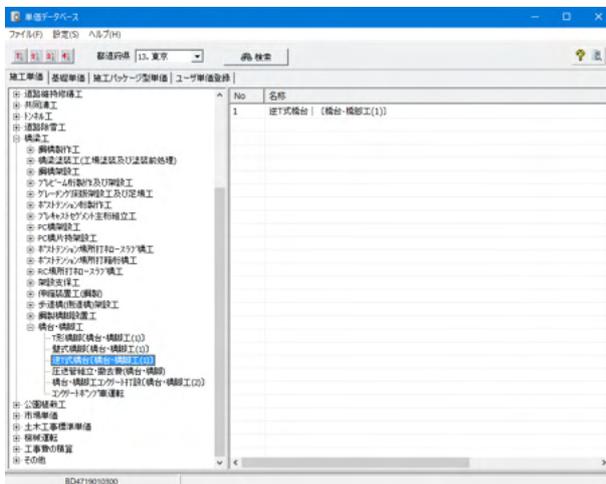
No.	名称	単位	数量	単価	金額	備考
1	構造下地	式	1.000	---	647100	
2	構造上工	式	1.000	---	41900	
3	鉄筋工	式	1.000	71160	71160	円単価未決
4	鉄骨工	式	1.000	342786	342786	円単価未決
5	内装上工	式	1.000	---	888340	円単価未決
6	外装上工	式	1.000	---	312000	
7	防音防振工	式	1.000	---	312000	
8	構造耐力上あり	鋼材	28647866	342786	9918200000	第1号単価表
9		鋼材	28647866	342786	9918200000	第1号単価表
10		鉄工鋼骨	40400	320700	13068000	第1号単価表
11		鉄工	32000	180000	5760000	第1号単価表
12		鉄工	1000	147000	147000	第1号単価表

鉄筋工の数量入力を行います。  
<数量: 4.160>



「橋台躯体工(A2)」を追加します。  
「工事工種体系ツリー」より「逆T式橋台」を選択します。

事業区分: 道路新設・改築  
橋梁下部-橋台工-橋台躯体工(構造物単位)-逆T式橋台



鉄筋工の下位表の入力を行います。  
<名称(細別): 逆T式橋台>の行を選択し、<単価検索>をクリックします。  
橋梁工-橋台・橋脚工-逆T式橋台 [橋台・橋脚工(1)]



下記の通り入力を行います。

**施工単価表**

単価の入力を行います。  
<高さ区分: 7m以上9m未満>  
<打設量区分: 110m3以上210m3未満>  
<生コンクリート規格: 24-12-25(20)(普通)>  
<圧送管組立・撤去の有無: 有>  
<圧送管延長: 15.00>

No	名称	単価
1	土木一般世話役	24200.00
2	特殊作業員	23200.00
3	型わく工	25100.00
4	とび工	26400.00
5	普通作業員	20200.00
6	生コンクリート	13250.00
7	生コンクリート夜間割増額	0.0
8	コンクリートポンプ車運転	85640.00
9	圧送管組立・撤去費(橋脚・橋台)	127.30
10	養生工	0.0
11	特殊養生(仮囲い内ジェットヒータ養生)	0.0
12	雑工種	131098.4
13	諸雑費(率+まるめ)	131098.4

「転送」ボタンで値を転送すると、「直接工事費」画面に単価表が設定されます。

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	控除	残高
1	土木一般労務員		人	8,700	24,200.00	210,540.00		
2	特殊作業員		人	8,200	20,200.00	165,640.00		
3	型枠工		人	2,300	25,100.00	57,730.00		
4	とび工		人	8,800	24,400.00	214,720.00		
5	普通作業員		人	2,800	20,200.00	56,560.00		
6	コンクリート	24-25	m <sup>3</sup>	10,200	12,250.00	124,950.00		
7	コンクリートポンプ車	トラック搭載7-6m式 圧送	日	8,800	65,640.00	578,832.00		
8	圧入管挿立・撤去費	圧入管挿立L=15m	m <sup>3</sup>	10,800	127.00	1,371.60		
9	雑工費		式	1,800	8.00	14,400.00		
10	雑費		式	1,800	8.00	14,400.00		

「下位表を開く」ボタンより、逆T式橋台の単価表を開きます。

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	控除	残高
1	土木一般労務員		人	8,700	24,200.00	210,540.00		
2	特殊作業員		人	8,200	20,200.00	165,640.00		
3	型枠工		人	2,300	25,100.00	57,730.00		
4	とび工		人	8,800	24,400.00	214,720.00		
5	普通作業員		人	2,800	20,200.00	56,560.00		
6	コンクリート	24-25	m <sup>3</sup>	10,200	12,250.00	124,950.00		
7	コンクリートポンプ車	トラック搭載7-6m式 圧送	日	8,800	65,640.00	578,832.00		
8	圧入管挿立・撤去費	圧入管挿立L=15m	m <sup>3</sup>	10,800	127.00	1,371.60		
9	雑工費		式	1,800	8.00	14,400.00		
10	雑費		式	1,800	8.00	14,400.00		

「生コンクリート夜間割増額」「養生工」「特殊養生(仮囲い内ジェット養生)」など不要な項目がある場合には項目削除より削除を行います。

金額

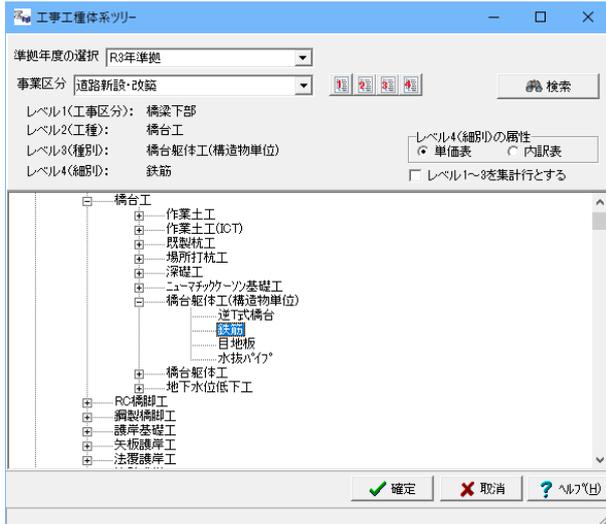
<雑工種: 10217.78>

<諸雑費(率+まるめ): 39390.82>

確定ボタンをクリックします。

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	控除	残高
1	土木一般労務員		人	8,700	24,200.00	210,540.00		
2	特殊作業員		人	8,200	20,200.00	165,640.00		
3	型枠工		人	2,300	25,100.00	57,730.00		
4	とび工		人	8,800	24,400.00	214,720.00		
5	普通作業員		人	2,800	20,200.00	56,560.00		
6	コンクリート	24-25	m <sup>3</sup>	10,200	12,250.00	124,950.00		
7	コンクリートポンプ車	トラック搭載7-6m式 圧送	日	8,800	65,640.00	578,832.00		
8	圧入管挿立・撤去費	圧入管挿立L=15m	m <sup>3</sup>	10,800	127.00	1,371.60		
9	雑工費		式	1,800	8.00	14,400.00		
10	雑費		式	1,800	8.00	14,400.00		

単価が設定されたことを確認し、数量を「167」と入力します。

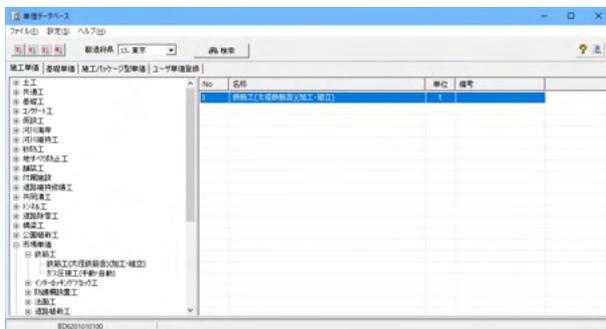


「鉄筋工」を追加します。  
「工事工種体系ツリー」より「鉄筋」を選択します。

事業区分: 道路新設・改築  
橋梁下部-橋台工-橋台躯体工(構造物単位)-鉄筋



鉄筋工の下位表の入力を行います。  
<名称(細別): 鉄筋工>の行を選択し、<単価検索>をクリックします。



「市場単価」-「鉄筋工」-「鉄筋工(太径鉄筋含)(加工・組立)」を選択します。



下記の通り入力を行います。

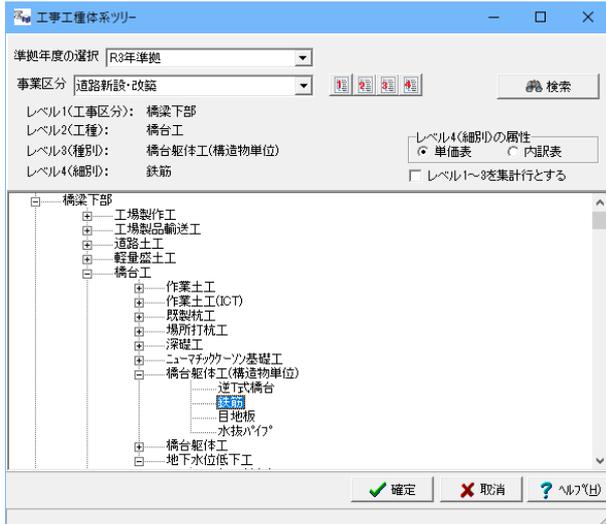
**施工単価表**

単価の入力を行います。  
<鉄筋材料規格・径: SD345 D13>  
<施工規模: 10t未満>  
<時間制約を受ける場合の補正: 無>  
<夜間作業補正: 無>  
<トンネル内作業の補正: 無>  
<北面作業の補正: 無>

No	名称	単価
1	市場単価	73600.00
2	鉄筋材料	74000.00
3	諸雑費(率+まるめ)	0.0

「転送」ボタンで値を転送すると、「直接工事費」画面に単価表が設定されます。



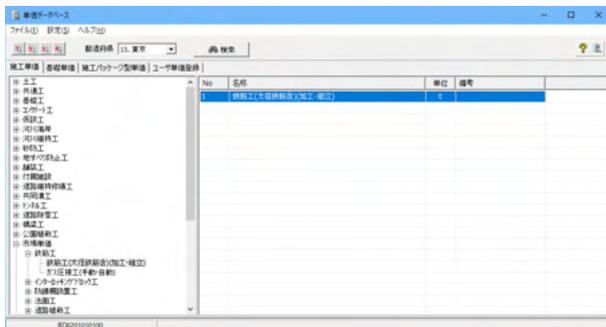


「鉄筋工」を追加します。  
「工事工種体系ツリー」より「鉄筋」を選択します。

事業区分: 道路新設・改築  
橋梁下部-橋台工-橋台躯体工(構造物単位)-鉄筋



鉄筋工の下位表の入力を行います。  
<名称(細別): 鉄筋工>の行を選択し、<単価検索>をクリックします。



「市場単価」-「鉄筋工」-「鉄筋工(太径鉄筋含)(加工・組立)」を選択します。



下記の通り入力を行います。

**施工単価表**

単価の入力を行います。  
 <鉄筋材料規格・径: SD345 D16~25>  
 <施工規模: 10 t未満>  
 <時間制約を受けられる場合の補正: 無>  
 <夜間作業補正: 無>  
 <トンネル内作業の補正: 無>  
 <法面作業の補正: 無>

No	名称	単価
1	市場単価	73600.00
2	鉄筋材料	72000.00
3	諸雑費(率+まるめ)	0.0

「転送」ボタンで値を転送すると、「直接工事費」画面に単価表が設定されます。

No.	名称	単位	数量	単価	金額	種別	属性
1	鉄筋工事	式	1.000	---	4,000.00	---	---
2	鉄筋加工・組立	円	1.000	73000.00	73000.00	---	---
3	鉄筋費	円	1.000	72000.00	74160.00	---	---
3	諸雑費	式	1.000	8.00	40.00	---	---

「下位表を開く」ボタンより、鉄筋工の単価表を開きます。

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	種別	属性
1	鉄筋加工・組立	一般構造用16未満	円	1.000	73000.00	73000.00	---	---
2	鉄筋費		円	1.000	72000.00	74160.00	---	---
3	諸雑費		式	1.000	8.00	40.00	---	---

内容の変更を行います

諸雑費(まるめ)  
合計値がサンプルデータと同じ値<147,800>になるように調整します。  
<単価: 0.00>  
<金額: 40.00>

確定ボタンをクリックします。

No.	名称	単位	数量	単価	金額	種別	属性
1	鉄筋工事	式	1.000	---	4,000.00	---	---
2	鉄筋加工・組立	円	1.000	73000.00	73000.00	---	---
3	鉄筋費	円	1.000	72000.00	74160.00	---	---
3	諸雑費	式	1.000	8.00	40.00	---	---

鉄筋工の数量入力を行います。  
<数量: 3.820>

品目コード	品目名称	単位	数量	単価	金額	備考
1	橋梁土工	式	1.000	---	470000	
2	橋脚	式	1.000	171000	171000	内訳書参照
3	橋脚土工	式	1.000	347500	347500	内訳書参照
4	橋脚土	式	1.000	400000	400000	
5	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
6	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
7	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
8	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
9	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
10	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
11	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
12	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
13	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
14	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
15	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
16	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
17	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
18	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
19	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
20	橋脚土工	式	1.000	---	307000	

項目の追加を行います。

標準年度の選択: R3年標準

事業区分: 道路新設・改築

レベル1(工事区分): 橋梁下部  
 レベル2(工種): 仮設工  
 レベル3(種別): 土留・仮締切工  
 レベル4(細別): -----

レベル4(細別)の属性  
 単価表  内訳表  
 レベル1~3を集計行とする

橋梁下部  
 工場製作工  
 工場製品輸送工  
 道路土工  
 軽量盛土工  
 橋台工  
 穴・橋脚工  
 鋼製橋脚工  
 護岸基礎工  
 矢形護岸工  
 法覆護岸工  
 擁壁護岸工  
 仮設工  
 工事用道路工  
 仮橋・仮構工  
 路面撤工  
 土留・仮締切工  
 砂防仮締切工  
 水管工

工事工種体系ツリーを開き、「橋梁下部」-「仮設工」-「土留・仮締切工」を選択します。

<レベル1~3を集計行とする:チェックを入れる>

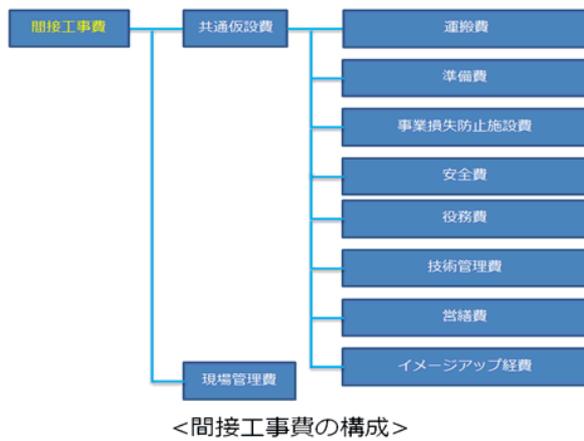
※<レベル1~3を集計行とする>については、チェックを入れず、属性の個別変更も可能です。

品目コード	品目名称	単位	数量	単価	金額	備考
1	橋梁土工	式	1.000	---	470000	
2	橋脚	式	1.000	171000	171000	内訳書参照
3	橋脚土工	式	1.000	347500	347500	内訳書参照
4	橋脚土	式	1.000	400000	400000	
5	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
6	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
7	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
8	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
9	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
10	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
11	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
12	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
13	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
14	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
15	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
16	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
17	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
18	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
19	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
20	橋脚土工	式	1.000	---	307000	
21	仮締切工	式	1.000	572000.00	572000.00	

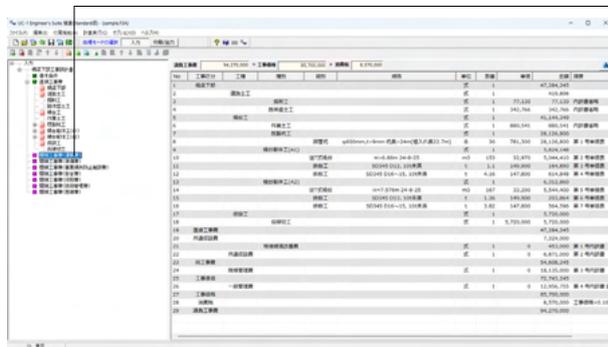
仮締切工  
 <単位:式>  
 <数量:1.000>  
 <単価:5720000.00>  
 <摘要:内訳書省略>

## 1-4 間接工事費

間接工事費の構成は、次の通りです。



左の工事費用を本画面で積み上げていきます。[内訳書]及び[単価表]は下位表を保持でき、最大5階層目まで入力が可能です。[項目]は下位表を保持できません。基本的な入力方法については、直接工事費用の入力操作と同じです。共通仮設費(運搬費、準備費、事業損失防止施設費、安全費、役務費、技術管理費、営繕費、イメージアップ費)毎に分けて入力します。イメージアップ費以外の共通仮設費は、別途求めて頂き、直接経費を入力してください。なお、イメージアップ経費(内部計算or直接指定)及び現場管理費(内部計算)で算出しています。



ツリーの「間接工事費」をクリックします。



直接工事費と同様に項目「共通仮設費(積上げ分)」内訳書「運搬費(積上げ分)」を積み上げていきます。



運搬費(積上げ分)の下位表を開く指定された行が単価表や内訳書を下位層に持つ場合に有効になり、下位の入力表を開く事ができます。※指定された行を選択し、その状態から右ポップアップメニュー(下位表を開く)でも下位の入力表が開く事ができます。

## 第2章 操作ガイドンス

画面: [項目] [第 1 号内訳書 - 運搬費(補上げ分)]

項目: 分解・組立・輸送

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	属性
1	分解・組立・輸送	アースオーガ中掘機	回	1.000	2490000.00	2490000.00	第 17 号単価表	

計 = 2,408,000 (円)

単価表を追加します。

<名称:分解・組立・輸送>  
 <規格:アースオーガ中掘機>  
 <単位:回>  
 <数量:1.000>  
 下位表を開きます。

画面: [項目] [第 17 号単価表 - 分解・組立・輸送]

項目: 特殊作業員

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	属性
1	特殊作業員		人	23.500	23200.00	545200.00		
2	分解組立用クレーン賃料		日	5.600	76000.00	425600.00	「建設物価」P791	
3	運搬費等		式	1.000	1436784.00	978,800円×1.48		
4	諸雑費		式	1.000	0.00	416.00	端数処理	

計 = 2,408,000 (円)

No.1

<名称:特殊作業員>  
 <単位:人>  
 <数量:23.500>  
 <単位:23200.00>

No.2

<名称:分解組立用クレーン賃料>  
 <単位:日>  
 <数量:5.600>  
 <単位:76000.00>  
 <摘要:「建設物価」P791>

No.3

<名称:運搬費等>  
 <単位:式>  
 <数量:1.000>  
 <単位:1436784.00>  
 <摘要:970,800円×1.48>

No.4

<名称:諸雑費>  
 <単位:式>  
 <数量:1.000>  
 <単位:0.00>  
 <金額:416.00>  
 <摘要:端数処理>

確定ボタンをクリックします。

画面: [項目] [第 1 号内訳書 - 運搬費(補上げ分)]

項目: 分解・組立・輸送

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	属性
1	分解・組立・輸送	アースオーガ中掘機	回	1.000	2490000.00	2490000.00	第 17 号単価表	
2	分解・組立・輸送	クローラクレーン(油圧駆動式)	回	1.000	990200.00	990200.00	第 18 号単価表	

計 = 3,316,200 (円)

単価表を追加します。

<名称:分解・組立・輸送>  
 <規格:クローラクレーン(油圧駆動式)>  
 <単位:回>  
 <数量:1.000>  
 下位表を開きます。

概要 [ 項目 ] [ 第 4 号単価表 - 分解組立 - 編集 ]

単価表追加 戸建単価追加 項目追加 項目移動 上下移動 共通単価表追加 下位表参照

単価表挿入 戸建単価挿入 項目挿入 項目移動 上下移動 共通単価表挿入 標準数量

送 単価検索 KeyID=[ ]

送 送付単価検索 送付単価名を呼び出す

計 = 908,200 (円)

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	属性
1	特殊作業員		人	5.500	23200.00	127600.00		
3	分解組立用クレーン賃料		日	1.500	42400.00	63600.00	建設物価P791	
3	運搬費等		式	1.000	717000.00	717000.00	970,800円×1.48	
4	諸雑費		式	0.00	0.00	0.00	端数処理	

確定 取消 印刷

No.1

<名称:特殊作業員>

<単位:人>

<数量:5.500>

<単位:23200.00>

No.2

<名称:分解組立用クレーン賃料>

<単位:日>

<数量:1.500>

<単位:42400.00>

<摘要:「建設物価」P791>

No.3

<名称:運搬費等>

<単位:式>

<数量:1.000>

<単位:717000.00>

<摘要:970,800円×1.48>

No.4

<名称:諸雑費>

<単位:式>

<数量:1.000>

<単位:0.00>

<金額:0.00>

<摘要:端数処理>

確定ボタンをクリックします。

概要 [ 項目 ] [ 第 4 号内訳書 - 運搬費積上 - 印刷 ]

単価表追加 戸建単価追加 項目追加 項目移動 上下移動 共通単価表追加 下位表参照

単価表挿入 戸建単価挿入 項目挿入 項目移動 上下移動 共通単価表挿入 標準数量

送 単価検索 KeyID=[ ]

送 送付単価検索 送付単価名を呼び出す

計 = 3,876,200 (円)

No.	名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	属性
1	分解組立輸送	アースオーブ付伸縮機	回	1.000	240000.00	240000.00	第 17 号単価表	
2	分解組立輸送	クローラークレーン油圧駆動式	回	1.000	992200.00	992200.00	第 18 号単価表	
3	仮設材運搬費	(鋼矢板等)	t	70.000	5000.00	350000.00		
4	仮設材積込み,取卸し費	(鋼矢板等)	t	70.000	3000.00	210000.00		

確定 取消 印刷

No.3

<名称:仮設材運搬費>

<規格:(鋼矢板等)>

<単位:t>

<数量:70.000>

<単位:5000.00>

No.4

<名称:仮設材積込み,取卸し費>

<規格:(鋼矢板等)>

<単位:t>

<数量:70.000>

<単位:3000.00>

### 1-5 一般管理費

	共通仮設費	現場管理費	一般管理費
	対象額	直接工事費 + 共通仮設費 - 純工事費	純工事費 + 現場管理費 = 工事原価
桁等購入費	×	○	○
(支給品費等)桁等購入費	×	○	×
(支給品費等)一般材料費	○	○	×
(支給品費等)別途製作の製作費	×	×	×
(支給品費等)電力	○	○	×
無償貸付機械評価額	○	○	×
開閉門扉等工場原価	×	×	○
現場発成品	×	×	×
(ダム工事)支給電力料(基本料金を含む)	×	×	×
(ダム工事)無償貸付機械評価額	○	×	×

一般管理費等は、一般管理費及び付加利益の額の合計額とし、工事原価ごとに求めた一般管理費率 (Gp) を、当該工事原価に乗じて得た額の範囲内として次式で算定します。  
 一般管理費等費 = 工事原価 (Cp) × 一般管理費等率 (Gp)  
 一般管理費等率 (Gp) = {一般管理費等率 (標準値) × 補正值} + (契約保証補正值「必要に応じて計上」)

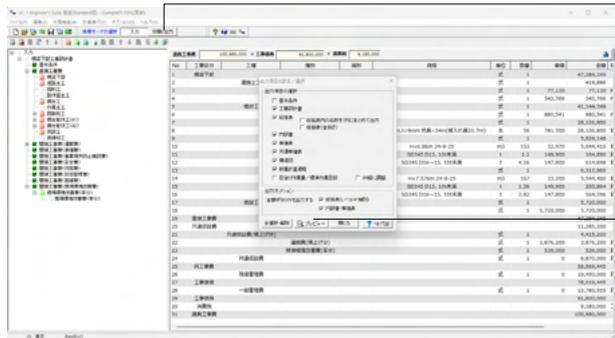
## 2 出力

### 2-1 総括表

品名	単位	数量	単価	金額
1 現場管理費	式	1		47,384,345
2 現場管理費	式	1		416,850
3 現場管理費	式	1	79,130	79,130
4 現場管理費	式	1	303,760	303,760
5 現場管理費	式	1	45,346,340	45,346,340
6 現場管理費	式	1	600,543	600,543
7 現場管理費	式	1	28,330,000	28,330,000
8 現場管理費	式	1	101,000	101,000
9 現場管理費	式	1	5,824,340	5,824,340
10 現場管理費	式	1	52,870	52,870
11 現場管理費	式	1	149,800	149,800
12 現場管理費	式	1	143,800	143,800
13 現場管理費	式	1	8,332,000	8,332,000
14 現場管理費	式	1	11,000	11,000
15 現場管理費	式	1	149,800	149,800
16 現場管理費	式	1	143,800	143,800
17 現場管理費	式	1	8,700,000	8,700,000
18 現場管理費	式	1	47,384,345	47,384,345
19 現場管理費	式	1	11,000	11,000
20 現場管理費	式	1	8,670,000	8,670,000
21 現場管理費	式	1	500,000	500,000
22 現場管理費	式	1	0	0
23 現場管理費	式	1	58,300,000	58,300,000
24 現場管理費	式	1	0	0
25 現場管理費	式	1	78,000,000	78,000,000
26 現場管理費	式	1	0	0
27 現場管理費	式	1	13,700,000	13,700,000
28 現場管理費	式	1	0	0
29 現場管理費	式	1	0	0
30 現場管理費	式	1	0	0
31 現場管理費	式	1	0	0
32 現場管理費	式	1	0	0
33 現場管理費	式	1	0	0
34 現場管理費	式	1	0	0
35 現場管理費	式	1	0	0
36 現場管理費	式	1	0	0
37 現場管理費	式	1	0	0
38 現場管理費	式	1	0	0
39 現場管理費	式	1	0	0
40 現場管理費	式	1	0	0
41 現場管理費	式	1	0	0
42 現場管理費	式	1	0	0
43 現場管理費	式	1	0	0
44 現場管理費	式	1	0	0
45 現場管理費	式	1	0	0
46 現場管理費	式	1	0	0
47 現場管理費	式	1	0	0
48 現場管理費	式	1	0	0
49 現場管理費	式	1	0	0
50 現場管理費	式	1	0	0
51 現場管理費	式	1	0	0
52 現場管理費	式	1	0	0
53 現場管理費	式	1	0	0
54 現場管理費	式	1	0	0
55 現場管理費	式	1	0	0
56 現場管理費	式	1	0	0
57 現場管理費	式	1	0	0
58 現場管理費	式	1	0	0
59 現場管理費	式	1	0	0
60 現場管理費	式	1	0	0
61 現場管理費	式	1	0	0
62 現場管理費	式	1	0	0
63 現場管理費	式	1	0	0
64 現場管理費	式	1	0	0
65 現場管理費	式	1	0	0
66 現場管理費	式	1	0	0
67 現場管理費	式	1	0	0
68 現場管理費	式	1	0	0
69 現場管理費	式	1	0	0
70 現場管理費	式	1	0	0
71 現場管理費	式	1	0	0
72 現場管理費	式	1	0	0
73 現場管理費	式	1	0	0
74 現場管理費	式	1	0	0
75 現場管理費	式	1	0	0
76 現場管理費	式	1	0	0
77 現場管理費	式	1	0	0
78 現場管理費	式	1	0	0
79 現場管理費	式	1	0	0
80 現場管理費	式	1	0	0
81 現場管理費	式	1	0	0
82 現場管理費	式	1	0	0
83 現場管理費	式	1	0	0
84 現場管理費	式	1	0	0
85 現場管理費	式	1	0	0
86 現場管理費	式	1	0	0
87 現場管理費	式	1	0	0
88 現場管理費	式	1	0	0
89 現場管理費	式	1	0	0
90 現場管理費	式	1	0	0
91 現場管理費	式	1	0	0
92 現場管理費	式	1	0	0
93 現場管理費	式	1	0	0
94 現場管理費	式	1	0	0
95 現場管理費	式	1	0	0
96 現場管理費	式	1	0	0
97 現場管理費	式	1	0	0
98 現場管理費	式	1	0	0
99 現場管理費	式	1	0	0
100 現場管理費	式	1	0	0

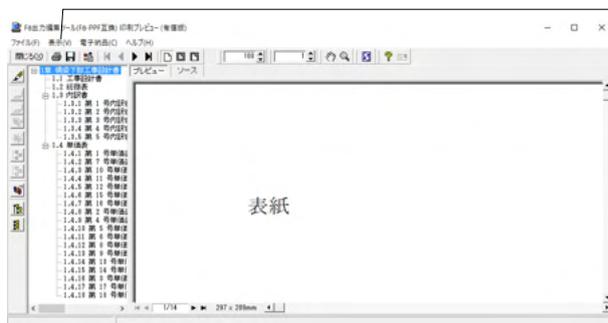
工事の全体を把握する総括表は、メイン画面の下記に表示されます。  
 直接工事費を元に、共通仮設費、現場管理費、一般管理費は内部計算されて、計算書に出力される同じイメージで表示されます。

## 2-2 印刷/出力



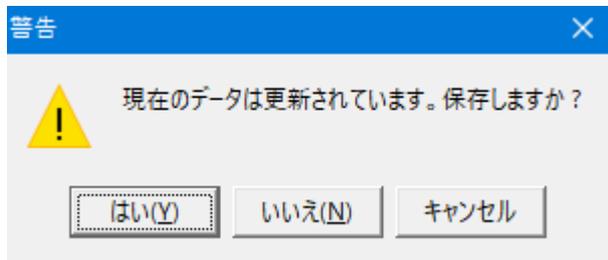
結果一覧詳細書を出力します。処理モードの選択で「印刷/出力」をクリックします。

プレビューを選択します。

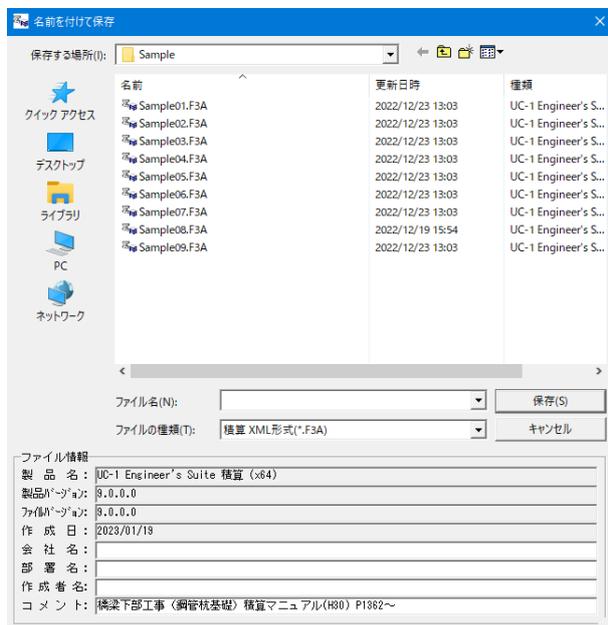


印刷・保存を行う場合は、上部のアイコンをクリックします。確認が済みましたら、出力項目の選択画面「閉じる」ボタンをクリックします。

## 3 データ保存



保存を行わずにプログラムを終了させようとした場合、左図のような確認メッセージが表示されます。保存をする場合は「はい」を選択し、保存場所・ファイル名を指定し保存します。  
※「いいえ」を選択すると、データは保存されず終了しますのでご注意ください。



「ファイル」-「名前を付けて保存」からデータを保存します。既存のデータに上書きする場合は「ファイル」-「上書き保存」を選択します。

# 第3章 積算関連設定

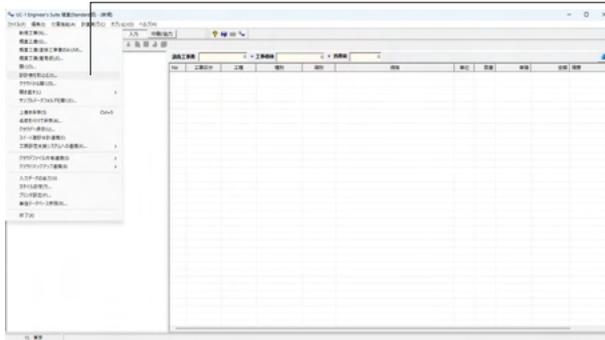
## 1 設計書の取込み

1	A	B	C	D	E	F	G
2							平成 年 月 日
3							
4					住所		
5					番 号 又 は 名 称		
6					代 表 者 名		
7							
8	工 事 名	平成の年	XX	XX	工事種	設計の員	工事
9	設計の員	工事区分・工種・種別・細別			単位	数量	金額(単位:円)
10	設計の員				円	1	0
11	設計の員				円	1	0
12	設計の員				円	1	0
13	設計の員				円	10	
14	設計の員				円	10	
15	設計の員				円	1	0
16	設計の員				円	1	0
17	設計の員				円	10	

### 設計書の取込み

既存の設計書ファイル(エクセル「xls、xlsx」及びPDF)を取込むことができます。  
 ※重要: エクセル取込は、Microsoft Office Excelのインストールが必須となります。  
 また、PDF取込は、Adobe Readerではなく、Adobe Acrobat書込ソフトのインストール及びエクセルのインストールが必須となります。

官工事により、入札のために設計書(金抜き)が一般公開されます。(例: エクセル表示)  
 その設計書を見ながら、各称(工事区分・工種・種別・細別)、単位、数量をソフト側に入力しても問題はありますが、手入力を行う分ミスや手間が多くなります。  
 その手間を効率的に行うための機能が、「設計書インポート」となります。



本ソフトにおいて、既存の設計書を取込む手順を紹介します。  
 ①メニュー「ファイル(F)-設計書を取込む(I)」を実行します。または、スピードボタンをクリックします。  
 ②設計書(\*.xls, \*.xlsx, \*.pdf)を選択して開くを実行します。  
 ③プログラム内で自動判別(認識)可能な部分を抽出し読取り状況を表示します。積算本体側に取込む前に、確認(変更)して確定します。  
 会社情報の項目名は、デフォルトで「県知事許可番号」「会社名」「郵便番号」「電話番号」「ファックス」「メール」「住所」「担当者」を用意しています。デフォルトボタンを押下すると、その項目名に上記名称がセットされます。

※重要: 複雑な設計書の場合、自動判別で抽出が上手くいかない場合があります。その場合は、メニュー「オプション-設計書項目別設定」を変更する事で、上手く読み取れる場合があります。



④取込直後のメイン画面は、左の通りです。  
 直接工事費画面において、細別の項の下位表に必要な項目(機材)を積上げて行く事で、入札の見積書を簡単に作成することができます。

## 2 UC-1スイート積算連動インポート

弊社UC-1Engineer'sSuite製品から設計で使用された材料の数量を、ファイル (\*.FLK) 経由で、本製品に取り込む機能です。

No.	名称(工種区分)	名称(工種)	名称(種別)	名称(階層)	単位	数量	単価	金額	階層	属性
1	構造下骨	構造土			式	1.000	---	47206245		
2		階段土			式	1.000	---	476000		
3		階段土	階段土		式	1.000	2713000	2713000	階1	内訳書参照
4		階段土	階段土		式	1.000	3827000	3827000	階2	内訳書参照
5		階段土	階段土		式	1.000	---	41344000		
6		階段土	階段土		式	1.000	8980000	8980000	階3	内訳書参照
7		階段土	階段土		式	1.000	---	24120000		
8		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
9		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
10		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
11		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
12		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
13		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
14		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
15		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
16		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
17		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		
18		階段土	階段土		式	1.000	---	3210000		

直接工事費画面にある「連動ファイル取込」を実行すると、各UC1製品から出力された材料名称と数量を取込む事ができます。

No.	名称(工種区分)	名称(工種)	名称(種別)	名称(階層)	単位	数量	単価	金額	階層	属性
29		階段土			m <sup>2</sup>					
30					式					
31		土留			式					
32					式					
33					式					
34					式					
35					式					
36					式					
37					式					
38					式					

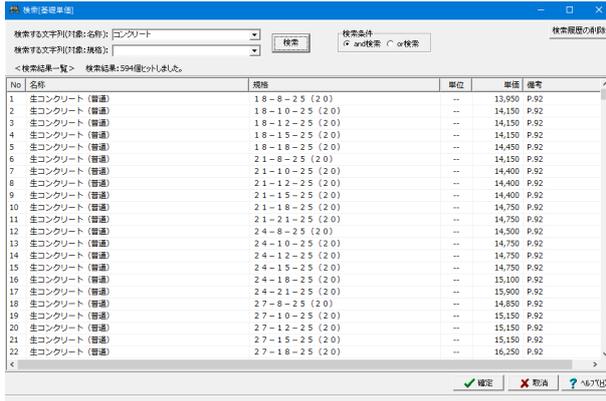
名称(種別)に「内訳書」として取込みます。内訳書の内容は各種製品毎に異なります。例として擁壁の図面から出力したケースを紹介します。設計で使用されたコンクリート、型枠、鉄筋が数量算出されます。階層構造になっているので、項目行を選択し、下位表を開くボタンを実行して、該当項目に属する項目を表示させます。(階層[2層目]、階層[3層目])  
基礎単価検索ボタンより、単価データベースから該当する単価を見つけて転送する事で、数量と単価から金額が算出され、コンクリート工の単価表として集計されます。

No.	名称	階層	単位	数量	単価	金額	階層	属性
1	コンクリート		式	1.000	3.3	3.3		
2	型枠		式	1.000	3.3	3.3		
3	鉄筋		式	1.000	3.3	3.3		

下位表を開くボタンを実行して、該当項目に属する項目を表示させます。

No.	名称	階層	単位	数量	単価	金額	階層	属性
1	左側壁		m <sup>3</sup>	2.000	0.0	0.0		
2	右側壁		m <sup>3</sup>	2.300	0.0	0.0		
3	総計		m <sup>3</sup>	4.300	0.0	0.0		

**基礎単価検索ボタン**  
単価は直接入力のほかに単価データベースから設定することもできます。



検索ボタンを押して一覧の表示を行います。

対応した単価を選択し、挿入ボタンをクリックします。

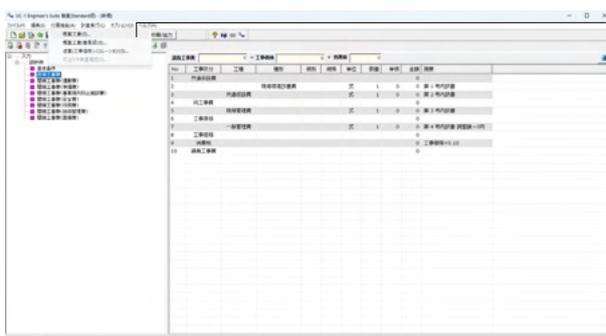
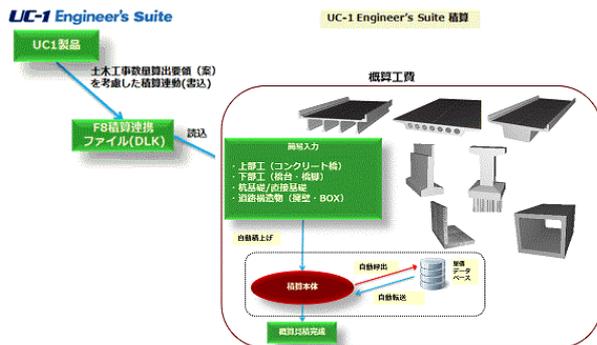


単価が挿入されました。

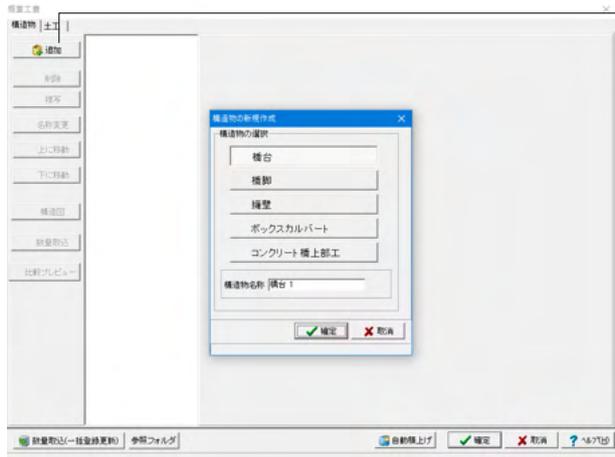
このようにデータベースから単価の入力をする方法もあります。

### 3 概算工費

橋梁下部工(橋台・橋脚)や橋梁上部工(コンクリート上部工)、道路構造物(擁壁・BOXカルバート)の簡単な条件を選択することで自動的に概算工事費の見積もりが出来る機能です。また、対応しているUC-1製品(橋台・橋脚・擁壁・BOX)からファイル(\*.DLK) 経由で、材料の数量や構造図などを本製品に取り込むことも可能です。



付属機能から概算工費を選択します。



基本条件を設定後、積算を行う構造物の選択をします。



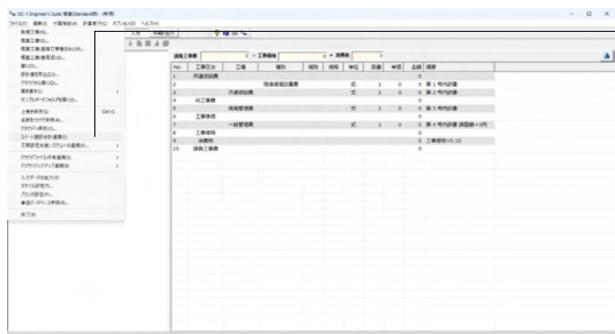
「数量取込」より連携するデータ(\*.DLK)を選択します。

「構造図」にて取り込んだデータの確認をすることが出来ます。

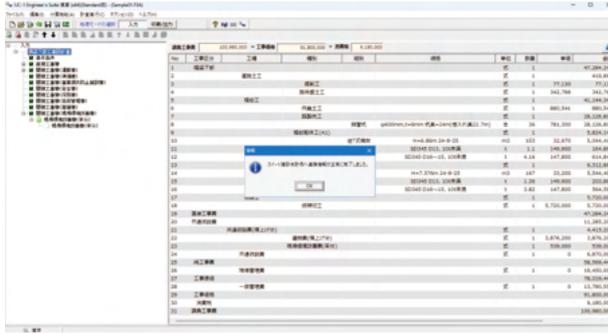
自動積み上げを行うことで概算工事費が計算されます。

## 4 スイート建設会計との連携

設計(計画) → 数量算出 → 積算 → スイート建設会計へ連携することで、一連のCIMの実現に向けて加速させる事ができます。



ファイル-スイート建設会計連携をクリックします。



「スイート建設会計側へ連携状況が正常に完了しました。」と表示されます。  
OKをクリックします。

## スイート建設会計



工事機能-設定より「Suite積算連携」を選択します。



一覧表の上に表示されている「未連携データ」「工事連携状況」が表示されますので、「未連携データ」をクリックします。

送信したデータが表示されていない場合は [再読み込み] ボタンをクリックします。  
取込みは1回のみで、再度取り込みを行うには、Suite積算もう一度送信します。

取込む工事の右端の [取り込み] ボタンをクリックします。



「工事選択」画面が表示されます。  
取込む工事をクリックし、[決定] ボタンをクリックします。

読み込まれたデータはスイート建設会計の実行予算に反映されます

Suite積算項目	スイート建設会計の費目
直接工事費	材料費
共通仮設費・現場管理費・一般管理費	経費

### 【実行予算管理】

スイート建設会計 株式会社フォーラムエイト / FORUM8 株式会社

実行予算管理

会計単位: 東京 工事種別: 1011 表示

工事名称: 操作ガイダンス

工事場所: 東京都

発注者名: 東京都

開始日: 2018/11/01 竣工日: 2018/11/30 完成予定日: 2019/02/01

※ 予算入力方法を要する。登録されている情報にクリアされます。元に戻す場合は表示ボタンをクリックしてください。  
 ※ 登録内容で登録すると、所定のデータは登録できません。

登録入力方法: \* 概算管理 \* 科目別管理

材料費	労務費	外注費	経費	工事集約合計
17,849,433	0	0	11,800,567	29,650,000

登録

### 工事連携状況

スイート建設会計 株式会社フォーラムエイト / FORUM8 株式会社

Suite積算連携

非連携データ 工事連携状況

スイート建設会計の工事と積算データの連携状態を表示しています。  
 連携中の工事は「連携解除」ボタンが表示されます。  
 連携を解除する場合は「連携解除」ボタンをクリックしてください。

工事種別	工事名称	
1000	東京工事A	連携解除
1011	操作ガイダンス	連携解除
2000	既存工事B	連携解除
3000	新規工事C	連携解除
5000	東京工事D	連携解除
6000	工事ガイダンス	連携解除
6001	DF	連携解除

工事機能-設定「Suite積算連携」を選択し、「工事連携状況」タブをクリックします。

スイート建設会計の工事と積算データの連携情報が表示されます。読み込まれたデータはスイート建設会計の実行予算に反映されます。

連携中の工事は「連携解除」ボタンが表示されます。連携を解除するには「連携解除」ボタンをクリックします。

## 第4章 Q&A

- Q1** 既設橋梁補修(補強)データは対応していますか?
- A1 本プログラムは、国土交通省土木工事積算基準の道路維持修繕(主に、橋梁補修工、橋梁補強工)にある一般的な歩掛は用意しております。  
既設橋梁補修(補強)データが、橋梁架設工事の積算(日本建設機械化協会)の補修補強工事専用の歩掛をお考えなら、これに準拠した歩掛は対応しておりません。
- Q2** ライフサイクルコスト比較表に対応していますか?
- A2 申し訳ありませんが、対応しておりません。
- Q3** 労務費は全国網羅されているか?
- A3 労務費は、全国(47都道府県)に対応しています。
- Q4** 施工単価、基礎単価などは都道府県(県庁所在地)レベルのものようですが、市区町村レベルのものはどのように扱えばよいでしょうか?
- A4 手動で変更する必要があります。  
Ver.1.1.0以降において、ユーザ単価登録機能に対応していますので、ご利用ください。
- Q5** 端数処理はどのように処理されていますか?
- A5 数量、単価、金額、間接工事費等で個別に止めと丸め方法(切り捨て、切り上げ、四捨五入、五捨五入)を選択する事が可能です。  
設定は、オプションー端数処理の設定画面で行います。
- Q6** 単価データベースは、工事費画面からしか呼出す事ができないのですか?
- A6 Ver.1.1.0で工事費画面以外から単価DBを確認できる機能を追加しました。  
メイン画面のメニュー「ファイル(F)ー単価データベース参照(R)」を実行すると、単価DB内の単価や単価表を参照する事ができます。
- Q7** 単価データベースの歩掛に、排出ガス対策として「第1次基準値」と「第2次基準値」の選択がありますが、何か違いがあるのですか?
- A7 第1次基準値と第2次基準値では、排ガスの基準値量によって分類されています。  
排ガスとは、建設機械の使用に伴い発生する一酸化炭素、炭素水素、窒素酸化物、粒子状物質、黒煙を指しています。  
第2次基準値の方が第1次基準値よりも少ない排ガスを求められる事になります。
- Q8** 設計業務の積算に対応していますか?
- A8 本プログラムは、国土交通省土木工事積算基準に準拠して、請負工事費の予定価格の積算を目的としたものです。  
国土交通省の設計業務等標準積算基準書は、土木工事業に係る設計業務等に用いる業務委託料を求める積算が必要となるため対応していません。
- Q9** 施工単価、施工パッケージ型単価から選択(取込)した項目は本体側の工事費画面で確認する方法はありますか?
- A9 本体側の工事費画面では、KeyIDの表記で判断できます。  
施工単価から選択した項目: KeyID=[ A??? ] (Aのプレフィックスが付きます)  
施工パッケージ型単価から選択した項目: KeyID=[ C??? ] (Cのプレフィックスが付きます)

Q10 施工パッケージ型単価を選択したものは、計算書に詳細が出力されますか？

A10 計算書では、以下のように施工パッケージは積算条件の詳細内訳が出力されます。

1.4 単価表

1.4.1 第1号単価表-図漢  
基準数量 1

名称	規格	単位	数量	単価	金額
図漢	シフト規格：24×24(20) (標準)、内装・内 装・外装の仕様が上記の仕様のうち 任意の仕様の組み合わせによる 仕様書(仕様シート)、基準仕様の有無・詳 細・仕様の有無・詳細・仕様の有無 の有無・詳細、仕様の有無・詳細 の有無・詳細、仕様の有無・詳細	m <sup>2</sup>	1	41,460	41,460

第1号単価表-図漢 - 計算書

項目	内訳積算材料規格	積算比(%)	原単	積算単価
機械(E)		1.66	---	---
E1	コンクリートポンプ車【トラック積載・ブーム式】 駆動能力 9.0～11.0m <sup>3</sup> /h	1.17	47,300	50,806
労務(E)		64.34	---	---
E1	型枠工	21.12	26,200	23,506
E2	普通作業員	15.24	17,200	19,206
E3	土木一般作業員	5.71	21,900	23,506
E4	とび工	4.58	22,600	24,606
材料(D)		34.1	---	---
D1	コンクリート 標準 24×24(20) W/C 50%	33.78	12,900	12,750
D2	細砂 1.2号  Petrolog 砂	0.24	121	97
付帯単価(S)		0	---	---

積算条件 図漢

積算条件	区分
シフト規格	24×24(20) (標準)
内装・外装(幅×高さ)	幅が上記の規格の幅より大きくなる場合は

養生上の種類	一般養生・特殊養生(標準・シフト)
基礎部分の有無	無し
均し(均し)の有無	無し
目録・土木版の有無	無し
圧縮管延長距離区分	延長無し

標準単価(E) = 50,346

$$\begin{aligned} \text{(機 械)} & \left( \frac{1.17}{100} \times 50,800 \right) \times 1.66 \\ \text{(労 務)} & \left( \frac{21.12}{100} \times 23,500 + \frac{15.24}{100} \times 19,200 + \frac{5.71}{100} \times 23,500 + \frac{4.58}{100} \times 24,600 \right) \times \frac{64.34}{100} \\ \text{(材 料)} & \left( \frac{33.78}{100} \times 12,750 + \frac{0.24}{100} \times 97 \right) \times \frac{34.1}{100} \\ \text{(積算比調整)} & \frac{100 - 1.66 - 64.34 - 34.1}{100} \end{aligned}$$

$$\text{標準単価(E')} = \text{標準単価(E)} \times \left[ \text{(機 械)} + \text{(労 務)} + \text{(材 料)} + \text{(付帯単価)} + \text{(積算比調整)} \right] = 41,460$$

Q11 本年度(H27)の施工パッケージ型単価は、H27.4適用版とH27.10適用版と2つありますが、どちらが今後提供される予定でしょうか？

A11 H27.4 適用版の提供を予定しています。

Q12 単価更新は年間どの月に対応を予定していますか？

A12 年間4回(1月、4月、7月、10月)を予定しています。

Q13 土地改良の積算に対応していますか？

A13 農林水産省の積算基準(土地改良工事積算基準)には、現在のところ対応しておりません。現時点で対応時期を明確にお答えすることができませんが、今後の開発の検討課題とさせていただきます。

Q14 47都市全ての単価データベースではなく、ある都市のみを使用する事はできますか？

A14 Ver.2から1都市と工種(ユーザ指定可能)を限定したライセンス(Lite版)を用意しました。このライセンスをご利用ください。

Q15 スイート積算と数量連携する製品群は？

A15 2016年5月下旬時点で連携する製品は次の通りです。

<単独製品>

- ・擁壁の設計 Ver.16.0.0
- ・BOXカルバートの設計 Ver.15.0.0
- ・橋脚の設計 Ver.13.2.0
- ・橋台の設計 Ver.14.2.0
- ・基礎の設計 Ver.1.2.0
- ・ラーメン橋脚の設計, RC下部工の設計Ver.2.2.0
- ・柔構造樋門の設計 Ver.9.1.0
- ・開水路の設計 Ver.2.1.0

<スイート製品>

- ・UC-1 Engineer's Suite擁壁の設計
- ・UC-1 Engineer's SuiteBOXカルバートの設計
- ・UC-1 Engineer's Suite橋脚の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite橋台の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite基礎の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite ラーメン橋脚の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite柔構造樋門の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite開水路の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite土留め工の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite仮設構台の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite二重締工の設計
- ・UC-1 Engineer's Suite切梁式二重締切工の設計

Q16 本年度 (H28) の国土交通省積算基準が昨年と同様に「4月版」と「10月版」と年2回発刊される予定ですが、どちらが今後提供される予定でしょうか？

A16 H28.4月版の提供を予定しています。

Q17 H28年度、黄本の間接工事費の主な改訂は怎么样了なっているか

A17 間接工事費の主な改訂は以下の通りです。

- ・橋梁保全工事の新設
- ・「河川・道路構造物工事」「鋼橋架設工事」「道路維持工事」の率の見直し
- ・「東京特別区／横浜市／大阪市」における「大都市補正の増設」

Q18 H28年度、積算方法で注意する点はありますか？

A18 従来は、共通仮設費に積み上げていた交通誘導警備員の計上をH28年改訂から、直接工事費として積み上げるようになった点があります。

Q19 設計書の取込み (\*.xls「EXCEL97-2003,2007」) 機能を用いる場合に、必要な条件はありますか？

A19 本機能を利用する前に、該当するエクセルのインストールが必要となります。

Q20 サンプルはどのようなものを用意していますか？

A20 詳細は回答A46の記載をご確認ください。

Q21 「橋梁架設工事の積算」に対応していますか？

A21 橋梁架設工事の積算 (日本建設機械化協会) は現在のところ対応しておりません。

Q22 概算積算は橋梁モデルを想定しているようですが、仮設のケースは今後検討されていますか？

A22 橋梁だけではなく、今後は仮設 (土留め、仮設工) の場合も計算できるように検討しています。

**Q23 令和3度、黄本の主な改定はどのような予定か**

- A23 令和3度における黄本の主な改訂は以下の通りです。
- ・ICT施工の新規工種追加
  - ・大規模災害の復興係数と復興歩掛の変更
  - ・コンクリートダム工事における間接工事費の諸経費率の改定
  - ・間接工事費の工種区分(下水道(4)工事)の新設

**Q24 概算工費とは？**

- A24 橋梁下部工(橋台や橋脚)、橋梁上部工、下部工道路構造物(擁壁、ボックスカルバート)の簡単な条件を選択することで自動的に橋梁や道路構造物の概算工費を見積りができる仕組みです。

**Q25 H29年改定でICT舗装が新設されましたが、このICTとは何ですか？**

- A25 建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取組をi-Construction(アイ・コンストラクション)と呼んでいます。  
その舗装分野に取り入れたのがICT舗装となります。

**Q26 H29年の積算基準の改定で、1日未満で完了する小規模施工時の積算はどのようにになりましたか？**

- A26 次のように変更になりました。
- ・ $0 < h(\text{時間}) < 4$ の場合、機械・労務は半日分、材料は使用数量で計上する。
  - ・ $4 \leq h(\text{時間}) < 8$ の場合、機械・労務は1日分、材料は使用数量で計上する。

**Q27 材料単価を一つずつ積み上げたい場合は、単価データベース画面のどこを使えばよいですか？**

- A27 単価データベース画面の基礎単価に
- ・土木共通
  - ・土木資材
  - ・土木コスト
- ごとに単価を用意しています。

**Q28 スイート建設会計と連携する場合はどうすればよいか？**

- A28 見積りが完成した段階で、メニュー「ファイル」-「スイート建設会計連携」を実行してください。  
連携情報はスイート建設会計(<https://construction-acc.forum8.co.jp/>)側で確認することができます。  
スイート積算側の見積り予算の各経費(直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費、請負工事費)をスイート建設会計の実経費と比較・検討しながら、作業を進める事が出来ます。

**Q29 東京都建設局 基準準拠への対応予定はありますか？**

- A29 現時点(2018年5月)では、上記の対応予定はございません。

**Q30 施工パッケージ型の積算単価の算定式は？**

- A30 例えば、H28.4宮崎県宮崎市の場合は、次の通りです。

積算単価(P')

$$\begin{aligned} &= \text{H28.4 東京標準単価}(P) \times \\ & \left[ K \times (\text{H29.4宮崎市地区 機械単価} / \text{H28.4 東京 機械単価}) \right. \\ & \quad R \times (\text{H29.4宮崎市地区 労務単価} / \text{H28.4 東京 労務単価}) \\ & \quad \left. Z \times (\text{H29.4宮崎市地区 材料単価} / \text{H28.4 東京 材料単価}) \right] \end{aligned}$$

標準単価に対する機械経費(K)、労務費(R)、材料費(Z)の金額構成比率

Q31 H30年改訂では週休2日に取り組み際の必要経費計上が変更されていますが、どのようになりましたか？

A31 下記のとおりです。

	H29		H30		
	4週8休以上		4週6休	4週7休	4週8休以上
労務費	—		1.01	1.03	1.05
機械経費	—		1.01	1.03	1.04
共通仮設費率	1.02		1.01	1.03	1.04
現場管理費率	1.04		1.02	1.03	1.05

Q32 逆算機能（工事価格シミュレーション）とはどんな機能ですか？

A32 工事予定価格を元に直接工事費を一定量の増加、収束計算させながら、目標額に近い工事費の価格シミュレーションを行う機能です。

Q33 スイート建設会計への連動手順は？

A33 (1) Suite積算側のライセンス認証を確認  
メニュー「ヘルプ/バージョン情報」を実行し、ライセンス情報画面から「認証」を行ってください。



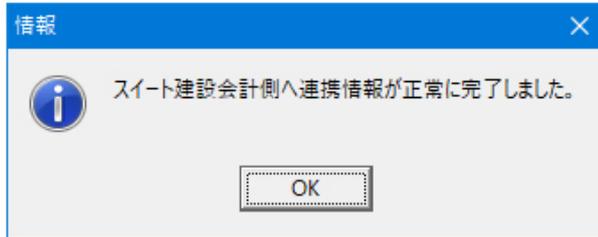
(2) Suite積算側の積み上げを行います。下記は積み上げ後のメイン画面。



スイート建設会計へ連動する情報は以下の通りです。（※Sample01の場合計は赤枠）



- (3) Suite積算側のメニュー「ファイル」-「スイート建設会計連携」を実行します。  
正しくスイート建設会計側へ連動された場合は、以下のメッセージが表示されます。



請負工事費 (今回のケースは74,350,500円 (税込)) が連動されています。  
Suite積算側の操作は以上で、スイート建設会計連携側の操作は説明します。

- (4) 「スイート建設会計連携 (<https://construction-acc.forum8.co.jp/>)」にアクセスし、ログインを済ませてください。



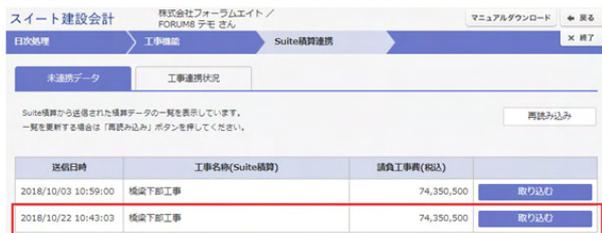
- (5) ログイン後、「工事機能」画面に進んでください。



- (6) 「工事機能」画面のSuite積算連携ボタンを押下してください。



該当箇所の「取り込む」ボタンを押してください。



ここでは工事番号2000、工事名称「宮崎工事B」を選択したとします。



(7) 工事番号2000、工事名称「宮崎工事B」の実行予算を確認、連動値を確認できます。



(8) あとは、スイート建設会計側で、実行予算と比較しながら、検討を行う事ができます。

Q34 Ver.5の概算工費の比較検討プレビュー機能及び数量過程連動において、積算と連携するUC-1製品はどの製品ですか？

- A34 積算と連動するUC-1製品は以下のとおりです。(順次リリース予定)
- ・擁壁の設計・3D配筋 Ver.18.3.0 (Suite 6.3.0)
  - ・BOXカルバートの設計・3D配筋 Ver.17.1.0(Suite 6.1.0)
  - ・橋台の設計・3D配筋
    - H24年度版：Ver.15.2.0(Suite 4.2.0)
    - H29年度版：Ver.2.2.0(Suite 1.2.0)
  - ・橋脚の設計・3D配筋
    - H24年度版：Ver.14.2.0(Suite 4.2.0)
    - H29年度版：Ver.2.2.0(Suite 1.2.0)

Q35 Standard版とLite版の違いは？

- A35 2020年12月時点において、主な相違はLite版は1都市、工種限定版になり、Standard版はこの制限がなく全機能をご利用頂けます。  
 製品インストールフォルダ内に「施工単価-全工種.txt」「施工P単価-全工種.txt」のリストを用意しています。  
 Lite版をご利用頂く場合には、これらのリスト「施工単価及び施工パッケージ単価」から適切な工種を選択してご利用ください。

Q36 Ver.5の概算工費の比較検討プレビュー機能で、擁壁の設計・3D配筋を使って連動を行う手順は？

- A36 擁壁の設計・3D配筋 Ver.18.3.0では、以下の手順で操作してください。
- (1) 擁壁の設計・3D配筋を起動します。
  - (2) 例えば、サンプルAUTOCHO1.f8rを読み込んで計算確認
  - (3) メニュー「ファイル」-「積算連携データの保存」を実行し、ファイル保存 (DLKファイル) を行います。
  - (4) 積算を起動し、メニュー「付属機能」-「概算工費」を実行します。
  - (5) 概算工費画面の数量取込みボタンを実行し、比較プレビューボタンを押下します。

Q37 施工パッケージ型において、実数入力には対応していますか？

- A37 Ver.5.0.2 (2019.4) から対応しました。  
このバージョン以降を使用し、回答パターンの選択 (横) から実数入力を行って頂くと、積算単価を算出する事ができます。

Q38 スイート積算は下水道耐震関連の概算工費及び積算が算出できますか？

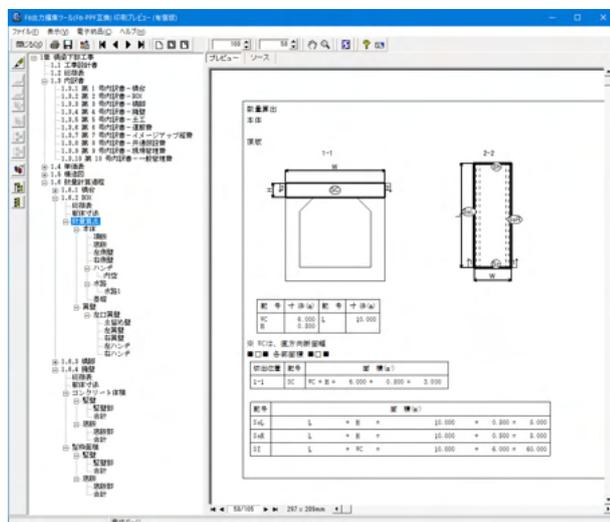
- A38 2019年7月時点で、スイート積算は下水道耐震の積算には対応しておりません。

Q39 クラウドデータバックアップサービスとは？

- A39 PCに常駐するクライアントプログラムにより、定期的にFORUM8のバックアップサーバにアップロードを行い、重要なファイルの自動バックアップを行うことができるサービスです。  
サービス概要などについて、こちらのWebサイトよりご確認ください。

Q40 Ver.5で追加された「概算工費の数量過程連動」はどういった機能ですか？

- A40 UC-1製品 (擁壁の設計・3D配筋、BOXカルバートの設計・3D配筋、橋台の設計、橋脚の設計等) の設計で用いたデータを有効活用し、(図面出力「数量総括表」) を積算側で取込み、概算工費及び形状・鉄筋等の数量算出過程まで積算側のプレビューで確認できる機能です。



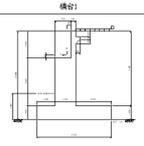
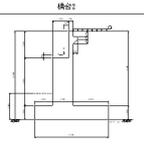
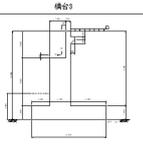
Q41 概算工費のやり方はどうすればよいですか？

- A41 以下の手順で行ってください。
- (1) 製品を起動し、初期画面の「概算工費」を選択します。
  - (2) 「基本条件」画面の内容を確認し、確定します。
  - (3) 「端数処理」画面の内容を確認し、確定します。
  - (4) 構造物を追加 (例えば、擁壁を選択) し、名称指定後、確定します。
  - (5) 擁壁の「躯体」「杭基礎」「躯体 (鉄筋)」等の情報を設定します。  
数量取込み及び数量取込 (一括登録更新) を押し、UC-1製品側で既にDLKファイルを出力済みの場合に上記設定が更新されます。
  - (6) 自動積上げボタンを実行すると、擁壁に関する概算費用を計算する事が出来ます。

**Q42 概算費用の比較検討を行うには？**

A42 以下の手順で行ってください。

- (1)製品を起動し、初期画面の「概算積算」を選択します。
- (2)「基本条件」画面の内容を確認し、確定します。
- (3)「端数処理」画面の内容を確認し、確定します。
- (4)構造物を追加（例えば、橋台を選択）し、名称指定後、確定します。
- (5)橋台の「躯体」「杭基礎」「躯体（鉄筋）」等の情報を設定します。  
数量取込み及び数量取込（一括登録更新）を押すと、UC-1製品側で既にDLKファイルを出力済みの場合に上記設定が更新されます。
- (6)比較プレビューボタンを押すと、下図のように形状や経費などを一覧で表示します。

名称	橋台1	橋台2	橋台3
図			
基礎形状	杭基礎	連続基礎	連続基礎
コンクリート量 (m <sup>3</sup> )	65.20	65.20	410.00
鉄筋量(t)	15.10	15.10	15.10
直積金額(円)	24,898,819	19,815,798	2,142,404
形態		○	
コメント欄		新築別荘	

**Q43 比較検討プレビュー時に、コメント類を追記出来ますか？**

A43 可能です。

「付属機能」-「概算工費」画面の判定及びコメント類の記入すると、プレビューに反映され概算工費の比較イメージを含め、エクセルやPDF形式等に出力する事ができます。

**Q45 国土交通省土木工事標準積算基準書に対応予定はありますか？**

A45 Ver.6で国土交通省土木工事標準積算基準書に対応を予定しています。

**Q46 サンプル01～09はどのような内容ですか？**

A46 次のようなサンプルとなっています。

- ・Sample01.F3A 橋梁下部工事（鋼管杭基礎） 積算マニュアル(H30) P1362～
- ・Sample02.F3A PC橋架設工事（プレテンション方式） 積算マニュアル(H30) P1330～
- ・Sample03.F3A 築堤護岸工事 施工パッケージ型 積算マニュアル(H30) P1106～
- ・Sample04.F3A 道路災害復旧工事 施工パッケージ型過程省略 積算マニュアル(H30) P1436～
- ・Sample05.F3A 砂防堰堤工事 施工パッケージ型過程省略 積算マニュアル(H30) P1175～
- ・Sample06.F3A 橋梁下部工事（鋼管杭基礎）
- ・Sample07.F3A 概算工費の比較検討
- ・Sample08.F3A 概算工費（簡易版）
- ・Sample09.F3A 工期設定支援システムへの連携

**Q47 ローカルPCのクラッシュ対策など、データを安全に管理するにはどうすればよいか？**

A47 スイート版の積算にはクラウドへ保存する機能があります。  
本機能「ファイルクラウドへ保存」をご利用ください。

**Q48 入力漏れや忘れをチェックする機能はありますか？**

A48 メニュー「編集-入力漏れチェック機能」をご利用ください。

**Q49 概算工費の機能で上部工を考慮できますか？**

A49 Ver.6から概算工費（コンクリート橋上部工）に対応しました。  
最新版をご利用ください。

- Q50** 2020年6月に、概算工費連携できる追加された製品はどの製品ですか？
- A50 該当する製品は、「UC-1 Cloud 自動設計シリーズ BOXカルバート」です。  
Ver.2以降のバージョンをご利用頂くと、積算と連携するファイルDLKを介して、概算工費を算出する事が可能になりました。
- Q51** 設計書の取込み (\*.PDF) 機能を用いる場合に必要な条件はありますか？
- A51 PDF取込みを行うにはAcrobatXI及びエクセル(97-2003, 2007以上)が必要で、画像系PDFの取込みはサポート外となります。
- Q52** UC-1製品からのFLKファイル連携はどのようなものですか？
- A52 UC-1 Engineer's SuiteのUC-1製品(および一部の単独版製品)から出力された材料名称と数量を「UC-1 Engineer's Suite 積算」に取り込むことができます。  
設計で使用した材料のみに特化し、積算用のデータ入力の手間が省けます。
- Q53** 2020年12月に、概算工費連携できる追加された製品はどの製品ですか？
- A53 2020年12月より「UC-1 Cloud 自動設計 擁壁」において、概算工費データ連携に対応しました。  
Ver.2以降のバージョンをご利用頂くと、積算と連携するファイルDLKを介して、概算工費を算出する事が可能になります。
- Q54** 逆算(工事価格シュミレーション)とはどんな機能ですか？
- A54 工事予定価格を設定し、その価格を基に直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費などの各内訳費用を決定する機能です。
- Q55** Ver.7.1.0から追加された「概算工費(簡易版)」の機能はどのようなものか？
- A55 橋梁下部工(橋台や橋脚)、橋梁上部工の簡単な条件を入力することで自動的にこれらの概算工費を見積りができる仕組みです。  
予備設計等で必要とされる橋梁系の概算工費を算定します。
- Q56** 「概算工費」と「概算工費(簡易版)」の違いは何か？
- A56 概算工費を算定する仕組みは基本的に同じです。  
「概算工費」は一部数量を別途求める必要があり、また細かな多数の入力が必要でした。  
一方、「概算工費(簡易版)」は概略設計及び予備設計を意識し、一般図等の寸法・配筋情報から自動的に数量を求め、概算工費を算定します。
- Q57** 2径間の橋梁全体(上部工、橋台1+橋脚+橋台2)の概算工費(簡易版)で作成手順は？
- A57 以下の手順で作成できます。  
(1)製品を起動します。  
(2)初期選択画面で、「概算工費(簡易版)」を選択し、確定します。  
(3)構造物タブの追加ボタンで「上部工」を選択、確定します。  
(4)構造物タブの追加ボタンで「逆T式橋台」を選択、確定します。  
(5)構造物タブの追加ボタンで「橋脚梁幅≧柱幅」を選択、確定します。  
(6)構造物タブの追加ボタンで「逆T式橋台」を選択、確定します。  
(7)適宜、追加した形状・寸法などを修正します。  
(8)経費率タブで、各項目の単価を設定します。  
(9)積上げボタンを押下すると、概算工費(簡易版)を算定することが出来ます。
- Q58** メニュー「スイート建設会計」を実行したとき、「Request sent : HTTP/1.1 401 Unauthorized」エラーが発生する場合はどうすればよいか？
- A58 下記Q&Aを参照し、手順通りに認証等が終了しているかをご確認ください。  
Q33. スイート建設会計への連動手順は？ (<https://www.forum8.co.jp/faq/win/suite-sekisan.htm#q33>)

Q59 Ver.8は積算基準の何年度に対応した版となりますか？

A59 令和3年度版です。

Q60 国土交通省が提供する「工期設定支援システム」への連携には対応してるか？

A60 Ver.8.0.0より、csvファイルエクスポートによる連携に対応しています。  
総括表を作成いただき「ファイル|工期設定支援システムへの連携」を選択していただくことで、連携用csvファイルをエクスポートすることができます。  
詳細につきましては、製品ヘルプ「操作方法|積算の流れ|工期設定支援システムへの連携」をご覧ください。

Q61 32bit版と64bit版で利用可能な機能の違いはありますか？

A61 基本的に利用可能な機能は同じです。

Q62 施工パッケージ型—安定処理工において、固化材実数値を入力してもZ1が0になるのはなぜか？

A62 固化材は不定期単価として設定しておらず、単価(Z1)=0となります。  
そのため、固化材(実数入力)Aを入力した場合でも、式 単価(Z1)×A/5.25で反映しますが、既に単価(Z1)=0のため積算単価のZ1に考慮されておりません。  
施工パッケージ型単価の「回答設定ボタン」を押下後、積算単価 (K:K1~K3/R:R1~R3/Z:Z1~Z2) の【積算地区】を入力する事が可能です。  
【積算地区】Z1に割増考慮後(A/5.25)の単価を入力後(tab移動)して対処してください。

Q63 積算ソフト内で使用する「単位」の追加は可能ですか？

A63 可能です。  
以下の手順で行ってください。  
(1)「オプション」—「単位の登録」を実行します。  
(2)「単位の登録」画面において、追加したい「単位」を「単位名称」の部分に入力し、「追加登録」ボタンを押下してください。

Q64 工期設定支援システム連携を試したいが、サンプルはありますか？

A64 工期設定支援システム連携の場合は製品付属のSample09.F3Aをご利用ください。

Q65 メイン画面の  ボタンはどのような機能でしょうか。

A65 複数の工事の一般管理費をまとめて表示する合算モードとなります。  
工事ケースが複数ある場合のみ有効となりますので、工事ケースが一つの場合は合算モードとしても意味がありません。

Q66 一つの積算データにおいて多用する単価表を共有する方法はないか。

A66 「共通単価表の登録」機能をご利用ください。  
「共通単価表の登録」で登録いただいた単価を、「直接工事費」画面及び「間接工事費」画面で取り込むことができます。  
詳細につきましては、製品ヘルプ「入力|共通単価表の登録」をご参照ください。

Q67 印刷プレビュー結果をA4縦にしてプレビュー枠内に収める方法はありますか？

A67 以下をお試しください。  
1. メイン画面の「印刷/出力」ボタンを実行します。  
2. 印刷プレビュー画面のメニュー「ファイル(F)」—「スタイル設定(T)」を実行します。  
3. 「用紙サイズ」画面の用紙サイズ=A4、縦に変更します。  
4. 「フォント」画面の表1,表2を6ptに変更します。

- Q68 総括表内の単価表を一覧で確認したい。**
- A68 「単価表の一覧表示、変更」機能をご利用いただくことで可能です。  
以下の手順で行ってください。
1. メイン画面のツリーにおいて対象工事ケースの工事名称を選択します。
  2. メイン画面のメインメニュー「編集」→「単価表の一覧表示、変更」をクリックします。
  3. 「単価表の一覧表示、変更」画面が開きますので、単価表の確認や変更を行ってください
- Q69 利用都市の変更はできますか？**
- A69 Standard版のライセンスを持っている場合のみ、「オプション」→「利用する都市の設定」から変更できます。
- Q70 計算書出力時に金額が0円となる項目を非表示としたい。**
- A70 Ver.9.0.0以降において、「出力項目の設定／選択」画面の「出力オプション|金額0円の行を出力する」の設定により可能です。  
「総括表(レベル4・細別)」をチェックした場合、総括表の出力における「細別」(レベル4)に設定されている工種で単価0円または数量0(=金額0円)の項目を非表示とします。  
「総括表(内訳書・単価表)」をチェックした場合、内訳書および単価表の出力における単価0円または数量0(=金額0円)の項目を非表示とします。
- Q71 総括表において、行の属性を変更したい。**
- A71 Ver.9.0.0以降において、「直接工事費」画面及び「間接工事費」画面での行属性の変更に対応しています。  
該当行を選択します。(行No.が赤字になっていることをご確認ください。)  
該当行上で右クリックし、「行属性変更」を選択します。  
「属性変更」画面にて変更後の属性を選択し、「確定」ボタンで画面を閉じることで、行属性を変更できます。  
※単価表・内訳書から項目・集計に変更した場合、変更前に保持している下位表が削除されますのでご注意ください。
- Q72 日当り標準作業量の設定方法を教えてください**
- A72 下記より、「日当り作業量」画面を表示することが出来ます。
- ・「直接工事費」画面の「日当り作業量」ボタンを押下。
  - ・メイン画面より「付属機能(A)|日当り作業量確認(D)...」を選択。
- 適用年度を選択することで自動的に直接工事費に対する日当り作業量を算出します。
- Q73 補修補強工事の歩掛はありますか？**
- A73 国土交通省土木工事積算基準及び国土交通省土木工事標準積算基準書に記載の補修補強関連歩掛では、下記に対応しております。
- ・道路維持修繕工―橋梁補修工
  - ・道路維持修繕工―橋梁補強工
  - ・道路維持修繕工―床版補強工
- Q74 設計書取込み時に、各項目箇所が上手く取り込むにはどうすればよいか**
- A74 「オプション」→「設計書項目設定」画面で、各項目のチェック及び列数の指定を行う設定を設けています。  
設計書取込みを行う前に、上記設定をご確認ください。
- Q75 工期設定支援システムへのCSVエクスポートで対応しているCSV形式は？**
- A75 工程計画情報CSVについて、「通常版」と「簡易版」の両方の形式に対応しています。  
単価データベースより積み上げを行った後に、「ファイル|工期設定支援システムへの連携」より、「通常版」と「簡易版」のファイル形式を選択できます。
- <補足>
- 工程計画情報CSV(通常版)  
国土交通省の積算基準書を適用した場合のCSV形式で、「工期設定支援システム」側で日当り作業量を算出します。  
本製品側では、単価データベースで設定いただいた回答条件をCSVに付加しエクスポートしています。
  - 工程計画情報CSV(簡易版)  
国土交通省の積算基準書を適用しない場合のCSV形式で、本製品側で日当り作業量を設定します。  
本製品側で算出・入力した日当り作業量をCSVに付加し、エクスポートします。

**Q76** 積算ソフトの中でインポート可能なファイル拡張子はどのようなものがあるか？

A76

- ・積算データ：F3A
- ・UC-1連携用ファイル：DLK
- ・UC-1連携用ファイル：FLK
- ・設計取込み用ファイル：XLS、PDF

**Q77** 総括表において単価をコピーしたい。

A77

Ver.9.0.2より単価表および内訳書のコピー機能に対応しました。

1. 総括表において対象の項目の行を選択し、右クリックします。
2. 「コピー&貼付」を選択することで、該当項目が複写されます。

**Q78** 単価データベースにおいて以前積上げた単価の条件を確認したい。

A78

Ver.10.0.0より、単価データベースにおいて回答条件保持するようにしました。

一度積み上げを行った後、再度単価データベースを開くことで、以前の回答条件を設定した状態で表示します。

※前年度と今年度の基準で回答条件が異なる場合、以前の回答を適用できない場合があります。

Q&Aはホームページ(<http://www.forum8.co.jp/faq/win/suite-sekisan.htm>)にも掲載しております。

# UC-1 Engineer's Suite 積算 Ver.10 操作ガイド

2024年2月 第1版

発行元 株式会社フォーラムエイト  
〒108-6021 東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA棟21F  
TEL 03-6894-1888

禁複製

## お問い合わせについて

本製品及び本書について、ご不明な点がございましたら、弊社、「サポート窓口」へお問い合わせ下さい。

なお、ホームページでは、Q&Aを掲載しております。こちらもご利用下さい。

ホームページ [www.forum8.co.jp](http://www.forum8.co.jp)

サポート窓口 [ic@forum8.co.jp](mailto:ic@forum8.co.jp)

FAX 0985-55-3027

# UC-1 Engineer's Suite 積算 Ver.10

操作ガイドンス

[www.forum8.co.jp](http://www.forum8.co.jp)

